
事業報告書

ANNUAL REPORT

平成23年度 '11.4~'12.3

社団法人 中部産業連盟

平成23年度 事業活動実績ならびに業務報告

目 次

I. 事業活動実績の総括	1
II. 分野別事業活動	
1. コンサルティング事業	25
2. セミナー事業（企業内）	33
3. セミナー事業（公開）	36
4. 国際協力事業	52
5. 受託事務局事業	53
III. 業務報告	
1. 会 勢	57
2. 会 議	57
3. 庶 務	59
4. 協力活動	59
5. 役・職員の対外的協力活動	60
6. 会員支援	61

I. 事業活動実績の総括（平成23.4～平成24.3）

1. 試練に耐え新しい進路模索に暮れた日本経済

平成23年度（2011年度）日本経済は、3月11日に起きた東日本大震災、大型津波そして福島第1原発の破壊による影響により、1000年に1度と言われる予想をはるかに越えた被害を東日本5県にもたらした。その影響は、日本全国に及び、産業界に与えた損害は計り知れない。そして、これらの始末は今日、未だ解決していない。

平成23年度決算期末となった3月30日の東京株式市場で、日経平均株価は、10,083円と1万円台を維持して取引を終えた。その間11月に8,300円台に落ち込んだが、日銀が追加緩和を決定した2月14日に9,000円台に回復し、その後上昇を続けた。

そして、平成23年10月31日に一時1ドル＝75円55銭と円が史上最高値をつけた外国為替市場は、ギリシャ救済や米国景気上昇、さらに日銀による追加緩和で平成24年2月後半からトレンドが変わり、3月15日時点では、1ドル＝83円、1ユーロ＝109円まで円高は修正された。

日本経済が輸出に依存する限り、円高のマイナスインパクトは大きい。しかし、新興国経済の台頭が貿易構造を大きく変えた。日本企業は生産拠点の海外移転を加速させ、以前の景気回復による輸出拡大の構図は描けなくなった。加えて、世界的なエネルギー需給の逼迫が輸入拡大を招いており、今期景気回復局面に入っても、貿易・サービス収支の赤字が続くこととなった。

今回、財務省の発表した平成23年度（2011年度）の貿易統計速報による貿易収支は、4兆4101億円の赤字となった。これは第2次石油危機の1980年以来ぶりの赤字となった。試練に耐え、新しい進路模索をすると同時に、国を挙げて経済回復に全力を尽くすことを強く期待する。

2. 平成23年度における事業活動の概要

試練に耐え、新しい進路模索に取り組む産業界発展のために当連盟は、改革改善の支援活動、長期的に活躍する人材育成のためのセミナー、研究会、フォーラム、講演会、大会など諸活動を実施した。

以下、活動実績の概要を要約する。

平成23年度事業活動収入総実績は、22億5,760万円であった。

1. 国内コンサルティング事業

(社数)

受注先	名古屋	東京	長野	総計
企業（会員・非会員）	184	102	9	295
専門機関・公共機関	60			

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（人事・マーケティング・総合）

(32社)

人事・総合系グループでは、経営計画策定から人事諸制度策定・改定、業務改善に関するコンサルティング、また各種の調査・報告を、企業及び各種団体から受託、実施。

- ①各種の経営体質強化・改善、活性化
- ②グローバル人材育成
- ③業績・実績対応型人事諸制度への転換や既存の評価制度の見直し
- ④公益法人制度改革
- ⑤調査報告系統業務に関して、国・地方公共団体等から受託して実施（7件）

対象業務は、「70歳まで働ける企業」創出事業や「アジアビジネス情報提供」事業

2) コンサルティング・グループ（生産）（56社）

企業体質改善、生産、品質、生産管理、職場活性化、人材育成等に関するコンサルティングを企業から各種団体までに対して、幅広く実施した。

①企業活性化コンサルティング

- ・工場経営／収益改善活動支援
- ・生産革新／生産効率化

②トヨタ流ものづくり支援コンサルティング

各種の生産現場にトヨタ流ものづくりを定着させるコンサルティング、自動車部品メーカー及び自動車メーカー協力会社の任意団体へ導入から定着までを支援

- ・小少軽短美支援

3) コンサルティング・グループ（事業再生）（15社）

銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティング、金融・財務・M&Aソリューションの提供を主目的とした経営層への支援、企業および事業の再生コンサルティングに対する各種ソリューションの提供、ハンズオン型ビジネスマッチングに取り組む。

4) 長野コンサルティング部（11社）

(2) 経営企画営業支援部（39社）

（株）商工中金経済研究所依頼の経営及び生産現場の改善・企業再生コンサルティングの継続及び新規受注。

(3) マネジメント貢献事業部（18社）

(4) 国際標準化事業部

1) マネジメントシステム構築、診断、研修、改善指導 他（50社）

2) Pマーク審査センター（344社）

一般財団法人日本情報経済社会推進協会（J I P D E C）の認定

を受けたプライバシーマーク審査指定機関（指定機関コード19）として、中部地区（愛知、岐阜、三重、石川、富山）の事業所を中心にプライバシーマーク認証及び2年毎の更新認証のための審査認証業務を実施

3) 情報セキュリティ監査センター（4社）

- ・情報セキュリティ監査

(5) JMS事業部

1) コンサルティング（26社）

- ・日本経営管理標準（JMS）およびトヨタ生産方式（TPS）を柱とした企業変革コンサルティングを実施（主として長期継続）

2) 職場活性化支援センター

- ・調査

第2回「職場の活性化とメンタルヘルス」に関するアンケート調査及び報告書の作成

実施時期：平成23年6月20日～7月31日

実施方法：アンケート調査票郵送方式

調査対象：中産連会員企業のうち、当連盟会員向け機関誌を定期郵送している766社の経営者、もしくは安全衛生管理責任をもつ役員

(6) マネジメント研修事業部

コンサルティングの企画・提案（35プロジェクト）

生産現場改善コンサルティング

(7) 中国プロジェクト

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民営企業に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

(8) 東京本部（60社）

- ・「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

VM (Visual Management=目で見る経営) 活動の推進による
企業体質の改革、見えるフレキシブル生産システム (VM-FMS)
の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活
動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・
ファイリング・VMの推進

[研究開発事業]

1) 職員の発表論文と受賞状況

第63回全国能率大会

第I部 平成23年7月12日

- ・経済産業政策局長賞 (第62回大会発表論文)

新たなProcess Design & Chain Management『I-P-O』法
「設計／試験」現場に潜む【5大ロス】と【仮説・検証解】

上席主任コンサルタント 町野 隆美

- ・全日本能率連盟賞 (第62回大会発表論文)

マネジメントシステムを活性化する法規制管理

研究員 熊澤 晶子

2) 平成23年度 (社)全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 小坂 信之、横山 太郎

表彰牌 浦野 貴、松村 佳洋

3) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発し
たマネジメント手法のポイントと導入成果を名古屋・東京で発表

- ・第24回マネジメント大会 (名古屋)

開催日：平成23年11月9日

会場：名古屋東急ホテル

参加人数：465名 (第1部会 313名 第2部会 152名)

大会テーマ：激動のグローバル時代を生き抜く経営改革

～商品開発力・生産現場力・マネジメント力・人財力で競争に打ち勝つ～

基調講演「グローバル展開の現状と課題」－わが社の歩みから－

(株)榎屋 代表取締役社長 大原 康之氏
(中産連 評議員)

・第18回東京マネジメント大会

開催日：平成23年10月5日

会場：アルカディア市ヶ谷

参加人数：130名（経営革新部会 91名 人材マネジメント部会 39名）

大会テーマ：変化を機会と捉え、「全員の力と技」で経営革新を！

4) 他機関が企画した海外への調査・視察団に当連盟職員が参加

名 称	派遣先	主 催	期 間	参加者数
2011年 Management Consulting Conference	ヘルシンキ (フィンランド国)	欧州経営コンサルタント団体連合会 (FEACO)	平成23年6月18日 ～平成23年6月25日	3

国別状況報告・講演

演題：「日本産業の未来とマネジメントコンサルタントの使命」

(社)全日本能率連盟 会長 竹内 弘之 (中産連 副会長)

2. セミナー事業（企業内）

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（人事・マーケティング・総合）（75社）

- ①管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修
- ②人事諸制度関連の研修
- ③各種の機能別研修会

2) コンサルティング・グループ（生産）（60社）

- ①トヨタ流ものづくり実践導入研修
- ②「品質力」構築／強化支援プログラム

3) 長野コンサルティング部（4社）

多数の事業体を擁する企業を中心に、経営基盤の強化のための企業内研修を実施

(2) 国際標準化事業部（105社）

1) 各種規格の解説研修、内部監査員養成研修 他 103社

2) 情報セキュリティ監査センター 2社

(3) JMS事業部（41社）

1) JMS事業 23社

2) 職場活性化支援センター 18社

- ①クレーム対応とメンタルヘルス 2社
- ②管理職向け メンタルヘルス研修 7社
- ③その他 9社

(4) マネジメント研修事業部

企業内研修の企画・提案（151プロジェクト）

(5) 東京本部（54社）

CAP（中産連アセスメントプログラム）による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、戦略マネジメント研修、

新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、自律型社員育成研修

3. セミナー事業（公開）

(1) 木曾駒塾運営事務局

第2期木曾駒塾（次世代経営リーダー啓発の場）の開講

（25社 25名参加）

1) 塾の目的

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の思いにより、次代の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成するために、中部産業界ゆかりの地にちなんで「木曾駒塾」と名づけ、平成22年度より開講。

中部産業界の将来を担うリーダー候補が参加し、発起人の講義による思いの共有とディスカッションによる切磋琢磨を中心とした研修を実施。

2) 発起人及び講師〔50音順〕

岡田 邦彦氏（J. フロント リテイリング株相談役）

小澤 正俊氏（大同特殊鋼株代表取締役会長）

川口 文夫氏（中部電力株相談役）

柴田 昌治氏（日本ガイシ株相談役）

須田 寛氏（東海旅客鉄道株相談役）

多賀 潤一郎氏（イビデン株最高顧問）

内藤 明人氏（リンナイ株代表取締役会長）

渡辺 捷昭氏（トヨタ自動車株相談役）

竹内 弘之（中産連副会長）

【コーディネーター】

青井 倫一氏（慶應ビジネススクール名誉教授

（元同スクール校長）

3) カリキュラム

第1講から第6講まで全6回の講義とグループ討議及び年度末に成果発表会を実施。なお、第2講から第4講は、木曾駒高原ホテルでの2泊3日の合宿にて実施。

テ ー マ	講 師	開 催 日	開 催 場 所
第1講 「鉄道経営論」	東海旅客鉄道(株) 相談役 須田 寛氏	平成23年 8月26日	名古屋東急ホテル
第2講 「国際競争の中 成熟産業社会の日本における経営者としての考え方」	リンナイ(株) 代表取締役会長 内藤 明人氏	平成23年 10月7日	木曾駒高原ホテル
第3講 「『漱石』をたずねて」	イビデン(株) 最高顧問 多賀潤一郎氏	平成23年 10月8日	木曾駒高原ホテル
第4講 「What is Roots?」	大同特殊鋼(株) 代表取締役会長 小澤 正俊氏	平成23年 10月8日	木曾駒高原ホテル
第5講 「次世代リーダーへの期待」	トヨタ自動車(株) 相談役 渡辺 捷昭氏	平成23年 12月9日	中産連ビル
第6講 「東アジアの国際関係を考える」	中部電力(株) 相談役 川口 文夫氏	平成24年 1月25日	中産連ビル

* 成果発表会を平成24年3月6日に名古屋東急ホテルにて、発起人、講師、参加企業の会長、社長をはじめ経営者の方々をお招きし実施。

(2) トヨタ生産方式研究会

トヨタ生産方式研究会の開催

研究会は開講30周年を超え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙を図る。

<研究会概要>

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	期 間
第65回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者220名】 (春季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 他6名	平成23年 5月18日～19日 (2日間)
第65回 PART II 「作業改善」研修 東日本大震災の影響を考慮し延期	平成23年 6月12日～17日 (6日間)
第66回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者270名】 (秋季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 他6名	平成23年 10月12日～14日 (3日間)
第66回 PART II 「作業改善」研修 【参加者 46名】 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 同部主査 松本 光一氏、西本 勝利氏 会場：アイシン精機(株) 新豊工場 (株)デンソー 高棚製作所 トヨタ紡織(株) 堤工場 豊田合成(株) 尾西工場	平成23年 11月6日～11日 (6日間)
特別開催 PART II 「作業改善」研修 【参加者 21名】 延期となった第65回のフォローアップとして開催 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 同部主査 西本 勝利氏 会場：(株)東海理化 本社工場 (株)豊田自動織機 碧南工場	平成24年 2月19日～24日 (6日間)

(3) コンサルティング事業部

1) 国際研修部

セミナー名	期間	研修日数
2011年「日英対訳で学ぶドラッカー」	平成23年5月18日～7月27日	3
組織的に成功する英語学習－語学習得の具体的方法	平成23年10月18日	1
海外現地法人で活かす 「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」	平成23年 6月21日 11月22日	2
海外で成功する改善業務 「指導の仕方」「指導の順序」	平成23年 7月26日 12月13日	2
米国ハワイ州立大学 第15回 「エグゼクティブ短期特別プログラム」	現地研修： 平成23年6月10日～7月2日 事前研修： 平成23年1月～5月	23 5
「MBAの英語特別プログラム」	平成23年2月5日～5月28日	16

2) 長野コンサルティング部

①現場ですぐに使えるポカミス対策講座 (2回 61名)

②研究会方式による監督者交流会第8期 (7社 18名)

(4) マネジメント貢献事業部

1) 技術経営研究会 (MOT) <2期> (日本政策投資銀行と共催)

(8社参加)

平成23年6月～平成24年3月 計14回実施

内容：技術経営にかかる戦略分析の「フレーム・道具」を用いて、受講者自身が自社分析（現況・課題の分析、5～10年後のあるべき姿（ビジョン）の構想、ビジョン達成のための技術戦略シナリオ設定）を行い、その結果を経営者（研修責任者）に報告する。

2) グローバルマネジメントプロジェクト

平成23年9月～平成24年3月 計8回実施 (7社)

内容：海外人材に特化した研修とともに異文化理解力を備えた日本人社員のグローバル化教育、人事処遇制度、生産体制の

強化・改善など「グローバルビジネスの課題解決」というテーマの下に、人材育成・組織改革のノウハウを整理・充実化を図る。

開催日	内容	講師
平成23年9月7日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント (ヒト編)	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年10月5日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント (カネ編)	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年10月11日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント (現地事情編)	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年11月30日(水)	中国ビジネスで勝利するための交渉術	海外職業訓練協会 国際アドバイザー 平沢 健一氏
平成23年12月13日(火)	ものづくり企業のための海外進出基礎知識 ～インドネシア編～	愛知・物づくりソリューションティーチャ 河村 邦彦氏
平成24年1月17日(火)	ものづくり企業のための海外進出基礎知識 ～インドネシア編～	大同メタル工業㈱バイメタル製造所 業務推進室長 加知 肇氏
平成24年3月6日(火)	激動するアジア戦略 (講師派遣)	甲南大学 教授 安積 敏政氏
平成24年3月14日(水)	海外赴任制度構築のための留意点 (講師派遣)	中産連 理事 国際研修部長 福山 穰

3) 経営後継者研修塾 (J E A短期集中コース)

平成23年9月～平成24年3月 計20回実施予定 (5社)

内容：経営後継者・経営幹部育成のノウハウを活かし、経営のあり方や事業戦略・事業継承等に関する知識を磨くための研修塾

4) 平成23年度地域新成長産業創出促進事業

【経済産業省中部経済産業局補助事業】

契約期間：平成23年5月20日～平成24年3月31日

業務内容：①サービスモデル開拓に向けた産学官連携体制 (ネットワーク) 構築

②次世代自動車に取組む中小企業向け技術高度化支援

③次世代人材供給環境整備

④地域ビジネス・技術のプロモーション支援

具体的取組実績として、TECH Biz EXPO 2011 併催セミナー、技術開発セミナー、ビジネスセミナー、学生向けEV講座、グレーターナゴヤ都市モビリティ構想策定準備会、企業視察会・シーズ提案会並びに名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センターへの研究委託等を実施。

5) 中部地域と東北地域の新規事業創出促進のための次世代自動車関連企業マッチング事業【経済産業省中部経済産業局補助事業】

「東北×中部 新たなモビリティビジネス創出に向けた産学官連携交流会 in 仙台」

契約期間：平成23年11月9日～平成24年3月31日

6) 中小零細企業向け地球温暖化対策推進事業【愛知県委託事業】

契約期間：平成23年9月～平成24年3月16日

(5) 経営革新事業部

1) 「中小企業診断士登録養成課程」（受講生10名）

2) 「新産業・技術展」（30社訪問）

当プロジェクトは未来の日本を牽引する「新産業・新技術」をキーワードに、中部地域産業の発展に貢献するコミュニケーションの場を『シンポジウム＋展示会＋ビジネスマッチング』のコンセプトイメージをもとに開催していくプロジェクトであり、スタートの年である昨年度は開催企画に必要なネットワーク育成に注力し、「新産業・技術シンポジウム＋ミニ展示会」を開催。今年度には“次フェーズ”である「新産業・技術シンポジウム＋モデル展示会」の開催を前提に営業活動を実施。

(6) 国際標準化事業部（参加者1,920名）

1) 公開セミナー

① I S O 9001 関連 （113回、922名）

- ② I S O14001関連 (97回、750名)
- ③ O H S A S18001 (労働安全衛生マネジメントシステム) (7回、64名)
- ④ I S O27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) (5回、24名)
- ⑤ プライバシーマーク (個人情報保護マネジメントシステム) (5回、35名)
- ⑥ I S O22000 (食品安全マネジメントシステム) (5回、39名)

2) 海外視察団

第14回 欧州環境視察団 (6社6名)

- ・ 日 程：平成23年7月3日～10日 8日間
- ・ 訪問国：ノルウェー・ドイツ・チェコ

公 開 研 修	実施回数	延参加者数
I S O9001研修 (含 T S16949)	104	902
9001審査員コース (3日、5日間)	2	6
V D A T S16949審査員・1st2ndコース・VDA6.3	7	14
I S O9001 (計)	113	922
I S O14001研修	92	715
14001審査員コース (3日、5日間)	4	29
欧州環境視察団 (7/11-18)	1	6
I S O14001 (計)	97	750
I S O27001	5	24
Pマーク	5	35
I S O27001・Pマーク (計)	10	59
O H S A S18001研修	7	64
I S O22000 (H A C C P) 研修	5	39
計測器セミナー	1	21
V M研修	1	8
統計的手法セミナー	1	5
最新エネルギー講演会	1	6
廃棄物処理解説セミナー	1	6
I S O研究会 (研究会員：11社13名)	6	40
総 合 計	243回	1,920人

3) Pマーク審査センター (4回 39名)

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (J I P D E C) の認定を受けたプライバシーマーク審査研修機関 (研修機関コード19) として、プライバシーマーク審査員研修・プライバシーマークフォローアップ研修等を実施

①プライバシーマーク審査員研修 (平成23年7月、24年1月開催) (5名)

②プライバシーマークフォローアップ研修
(平成23年6月、24年1月開催) (34名)

4) 情報セキュリティ監査センター (50名)

①公開セミナー

クラウド利活用最先端事例セミナー (2回 43名)

②視察団

第3回米国クラウド先進企業視察団 (2012年2月13日～18日) (7名)

訪問先：アメリカ合衆国西海岸

(サンフランシスコ～シリコンバレー周辺)

(7) J M S 事業部

・ J M S 推進機構

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
J M S 推進機構 特別企画 「当たり前のこと」 実践豆知識 第3集 ・海外拠点に、次 世代人材に、全 部門に伝えたい、 自社の強みを支 える「当たり前」 発刊報告会	基調講演 事例解説 ・日本車輛製造(株) 鉄道車両本部 ・ヤマハ発動機(株) AM事業部 AM第2技術部 ・高周波熱錬(株) IH事業部 電機部	平成23年 7月14日	名鉄グランド ホテル	【基調講演】 日本車輛製造(株) 生島 勝之氏 (代表取締役会長) 【講評】 J M S 推進機構理事長 新美 篤志氏 (トヨタ自動車(株) 代表取締役副社長)	128

(8) マネジメント研修事業部

フォーラム・公開研修等の企画実施

分野	プロジェクト数	社数	参加者数
フォーラム事業	1	66	130
研究会事業	2	21	22
海外洋上研修事業	1	79	135
公開研修事業	323	2,742	3,858
海外受け入れ研修	13	73	367
補助事業	3		
受託事業	19	210	645
<合計>	362	3,191	5,157

1) フォーラム事業 (1コース)

モノづくり応援フォーラム

テーマ(内容)	開催日	講師名	参加者数
頑張る日本の製造業!!	平成24年 3月21日	トヨタ自動車株 常務役員 井上 洋一氏 他9名	130

2) 研究会事業 (2コース)

①モノづくり研究会 (全7回コース)

②ヤング・エグゼクティブ・フォーラム (全12回コース)

3) 海外洋上研修事業 (1コース)

第27回中産連“創造の船”

期 間：平成23年10月23日～10月29日 (7日間)

訪問都市：北京・天津・上海・広州他

4) 公開研修事業 (階層別・分野別 323コース、2,742社、3,858名)

5) 補助事業 (3コース)

①「ものづくり分野の人材育成・確保事業 (ものづくり担い手育成事業) ・生産現場社員が知っておくべき切削加工技術の研修」全国中小企業団体中央会より

②「中部地域次世代自動車産業活性化のための人材養成事業・経営

者のための次世代自動車最新技術動向講座」経済産業省中部経済産業局より

③次世代人材供給環境整備事業・工学系学生のためのよくわかる次世代自動車講座」経済産業省中部経済産業局より

6) 受託事業 (19コース)

中小企業基盤整備機構中部支部 中小企業大学校瀬戸校 (公開研修業務受託)

(9) 東京本部 (参加者1,169人)

1) 講演会・大会

講演会・大会	テーマ (内容)	開催日	開催場所	講師名 (発表企業名)	参加者数
VM／見える化事例発表大会	～今こそVMによる全員力経営を徹底し、難局に立ち向かい、明日を築く！～	平成23年 7月11日	アルカディア市ヶ谷	①大信産業株 日信サービス株 ②十和田パイオニア株 ③ヤンマー株 特機エンジン事業 本部	168

2) 公開セミナー (61コース)

4. 国際協力事業

(1) 国際研修部

1) 国内での受託事業

本年度、独立行政法人 国際協力機構（JICA）から、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 全社的品質・生産性向上研修コース等3コースを受託。

コース名	期間	研修員	研修日数
「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 全社的品質・生産性向上研修」コース	平成23年5月10日～10月7日	8名	108日
コロンビア「品質管理・改善」コース	平成23年11月14日～11月25日	14名	10日
「メルコスール地域における中小企業の経営・生産性向上」コース	平成24年1月26日～3月9日	10名	32日

*若手企業人～管理職、行政関係者までを対象としている。

2) 友誼団体である財団法人 海外技術者研修協会（AOTS）などの国内で実施する研修事業に講師派遣

コース名	実施機関	延件数
各種経営管理研修コース	AOTS	5件
高度開発人材育成事業	GRIPS	1件

3) 海外での活動

海外で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	研修日数
Seminar on Total Quality Management & Maintenance	I社	スリランカ	平成23年4月3日～4月7日	1日

(2) コンサルティング・グループ（生産）

1) インド・製造業経営幹部育成支援プロジェクト

インド政府が推進するプロジェクトに独立行政法人 日本国際協力機構（JICA）とともに協力し、専門家を派遣。

内 容	詳 細	実施期間	実施場所
VLFM (Visionary Leaders for Manufacturing) プログラム支援	大企業と中小企業の連携推進	平成23年度 合計155日	インド各地

2) 南アフリカ「現場改善推進リーダー育成」支援

コ ー ス 名	詳 細	派遣期間	実施場所
「現場の問題解決・改善技法」研修	ケープタウン大学経営大学院と連携し、産業界の改善推進リーダーを育成	平成23年7月21日 ～8月2日 計13日	ケープタウン

5. 受託事務局事業

(1) マネジメント貢献事業部

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、循環型経済社会の構築を目指し活動
(平成12年2月17日設立)

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

＜環境パートナーシップ・CULBの役員と会員数＞

会 長 松下 雋氏（日本ガイシ(株) 代表取締役会長）
副会長 佐伯 卓氏（東邦ガス(株) 代表取締役社長）
副会長 小池 利和氏（ブラザー工業(株) 代表取締役社長）
副会長 新美 篤志氏（トヨタ自動車(株) 代表取締役副社長）
副会長 宮池 克人氏（中部電力(株) 代表取締役副社長執行役員）
副会長 加藤 宣明氏（(株)デンソー 代表取締役社長）
総合事務局長 竹内 弘之（(社)中部産業連盟 副会長）
ほか理事13名 監事2名 顧問10名
会員数 268社(者)（平成24年3月末日現在）

(2) JMS事業部

日本経営管理標準（JMS）推進機構

1) 現場見学会

開催日：平成23年5月16日

内 容：「トヨタ自動車 グローバル生産推進センター（GPC）」

2) JMS制定10周年特別企画

開催日：平成24年2月10日

内 容：特別講演 日野自動車(株) 相談役 蛇川 忠暉氏

「改革者 挫折を超えて」出版を祝う集い

(3) マネジメント研修事業部

外部機関からの委託事業の企画・運営

1) 日本設備管理学会 本部

業務受託（総会・シンポジウム、大会の実施）

2) 日本設備管理学会 東海支部

業務受託（総会・シンポジウムの実施）

(4) 総務本部 会員事業部

1) 日本経営近代化協会（SAM）名古屋支部

2) 日本広報学会中部部会

3. 業務報告

1. 会 勢

平成24年3月末日現在の会員数は787社（入会29社、退会31社）である。

2. 会 議

(1) 総会

平成23年度通常総会

と き 平成23年6月15日(水) 15時～16時20分
と ころ 名古屋東急ホテル（3階 ルネッサンスの間）
出席会員 570会員

(2) 理事会

第264回理事会

と き 平成23年5月20日(金) 11時～12時5分
と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 松竹の間）
出席者 理事45名、監事1名

第265回理事会

と き 平成23年11月14日(月) 12時50分～13時50分
と ころ 名古屋観光ホテル（2階 曙西の間）
出席者 理事45名、監事1名、顧問1名

第266回理事会

と き 平成24年3月23日(金) 13時～13時50分
と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル（2階 金の間）
出席者 理事45名、監事2名、相談役1名

(3) 第3回評議員懇談会・交流会

と き 平成24年2月28日(火) 13時30分～15時20分
と ころ 名古屋東急ホテル (3階 ロマネスクの間)
出 席 者 評議員27名、常勤理事6名、執行理事4名
議 件 中産連の事業紹介、意見交換

(4) 職員の状況

平成24年3月末日現在の正職員は男子93名、女子40名の合計133名である。

3. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

当連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・ J E A経営研究 (J E C)
- ・ 経営企画士会 (社)全日本能率連盟登録)
- ・ 日本設備管理学会 本部、東海支部
- ・ 日本経営近代化協会 (S A M) 名古屋支部
- ・ 日本広報学会 中部部会

(2) 関連法人

- ・ 中産連ビルディング(株)
- ・ (株)リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

4. 会員支援

(総務本部 会員事業部)

- (1) プログレス (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行
- (2) 会員懇話会 (会員向け無料講演会)

(3) 経営・法務相談室（無料）

(4) 中産連ビデオサービス

(5) 中産連ホームページ

(6) マネジメント小冊子の発行

『平成24年度会員懇話会抄録集』（平成24年3月31日発行・1000部）

『潮流13』（平成24年3月31日発行・1000部）

(7) 会員交流会

会員企業相互の情報交換、交流の場として会員交流会を開催

開催日	参加者数	備考
平成23年9月12日	42	第2回交流会・第511回会員懇話会併催
平成24年1月27日	26	第3回交流会・第514回会員懇話会併催

(8) 人材育成フォーラム

創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成の提案と平成23年度研修事業計画を説明。

テーマ	開催日	講師	参加者数
サッカー日本代表監督にみる“結果を出すリーダー術”	平成23年 12月7日	法政大学 スポーツ健康学部 教授 山本 浩氏	420
日本旅行流いまどき新人・若手の育て方～組織を活性化する“骨太人材”の育成を目指して～		(株)日本旅行 総務人事部 マネージャー 加藤 浩章氏	
トヨタ自動車（事技職）の人材育成－若年層からマネージャーまで－		トヨタ自動車(株) トヨタインスティテュート 主査 山田 治義氏	

Ⅱ. 分野別事業活動

1. コンサルティング事業

国内コンサルティング事業

- ・本部（名古屋）184社、東京本部102社、長野コンサルティング部9社に対してコンサルティング、教育研修を実施
- ・60の専門機関より要請を受け、コンサルティング、教育研修を実施

受注先	本部	東京	長野	総計(社)
会員企業ならびに非会員企業	184	102	9	295
専門機関、公共機関からの要請 (診断・コンサルティング・調査)	60			

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（人事・マーケティング・総合）（32社）

人事・総合系グループでは、経営計画策定から人事諸制度策定・改定、業務改善に関するコンサルティング、また各種の調査・報告を、企業および各種団体から受託、実施。

①各種の経営体質強化・改善、活性化

経営環境の変化に対応するための社内体制の見直しから組織づくり・変更、また環境変化に適応可能な方針策定、経営計画策定、新規事業創出を行なう。

前年度から全庁的（県）な業務「改革」（改善）活動支援のコンサルティングにあたっている。このプロジェクトは、県庁内全組織を対象に、部署別に全員参加の改善チームを編成し、問題の発見・設定からその解決策立案までのステップ全般に対して、必要な研修を実施し、同時にモデル職場にアドバイスするだけでなく、業務の見える化にも着手。

②グローバル人材育成に関するもの

海外戦略に対応した必要な人材育成が可能となるような人事制度づくり、本年度、とくに大手企業から中堅・中規模企業までこの分野の需要が大きかった。

③業績・実績対応型人事諸制度への転換や既存の評価制度の見直し

賃金制度、具体的には月給から退職金までの制度、関連する評価制度等の策定、改定に関する見直し。

④公益法人制度改革の一貫として、中産連のノウハウを他団体にも転用できるように、新法人への移行支援活動の案内を行い、今期は3団体で実施。

⑤調査報告系統業務に関して、国・地方公共団体等から受託して実施（7件）

対象業務は、「70歳まで働ける企業」創出事業や「アジアビジネス情報提供」事業であり、雇用・労働分野から産業支援、また人材育成まで広範囲に及んだ。

2) コンサルティング・グループ（生産）（56社）

企業体質改善、生産、品質、生産管理、職場活性化、人材育成等に関するコンサルティングを

企業から各種団体まで幅広く実施。

①企業活性化コンサルティング

多業種の製造業に対し、企業のニーズにもとづいたコンサルティングを実施。また金融機関・支援機関と連携し、診断から支援コンサルティングまで実施。

- ・企業体質革新
- ・工場経営／収益改善活動支援
- ・生産革新／生産効率化
- ・経営ビジョン／経営計画支援
- ・品質改善
- ・QCサークル活動支援
- ・生産管理体制構築支援

②トヨタ流ものづくり支援コンサルティング

各種の生産現場にトヨタ流ものづくりを定着させるコンサルティング、自動車部品メーカー及び自動車メーカー協会社の任意団体へ導入から定着までを支援

- ・小少軽短美支援

③海外の民間企業からの依頼に基づき講師派遣

3) コンサルティング・グループ（事業再生）（15社）

銀行、投資ファンド等の金融関係機関とタイアップしたコンサルティング、金融・財務・M&Aソリューションの提供を主目的とした経営層への支援、企業および事業の再生コンサルティングに対する各種ソリューションの提供、ハンズオン型ビジネスマッチングに取り組む。

- ・M&A検討プロジェクト支援（1社）
- ・経営サポートプロジェクト（2社）
- ・企業再生に関わる事業デューデリジェンスと経営計画作成支援（4社）
- ・ビジネスマッチング（4社）
- ・その他（4社）

4) 長野コンサルティング部（11社）

- ①経営改善・・・原価構造の改善による収益増進とアクションプラン作成
- ②現場改善・・・日々管理の徹底による付加価値増殖生産
- ③品質向上・・・設計・生産準備から日々の標準作業における一連の品質改善
- ④公的機関等及び業界団体等の調査研究事業を受託し提言

(2) 経営企画営業支援部（39社）

- ・商工中金経済研究所依頼の経営及び生産現場の改善・企業再生コンサルティングの継続及び新規受注
- ・北海道及び中部地区の企業に対してのコンサルティングを受注

1) コンサルティング

- ①経営改善コンサルティング
- ②現場改善コンサルティング

- ③人事制度改革コンサルティング
- ④60Bankコンサルティング
- 2) 調査・報告・研究
 - ①「70歳まで働ける企業」創出事業（愛知労働局・岐阜労働局）
 - ＜主な活動＞
 - ・有識者や労使等関係者からなる推進会議の設置と制度普及プランの作成
 - ・制度導入に取り組む企業の選定と制度導入に向けた実践的研究
 - ・制度導入のための知見の周知・広報
- (3) マネジメント貢献事業部（18社）
 - ・I S O 認証コンサルティング
 - ・業務改善コンサルティング
 - ・労働安全衛生コンサルティング
 - ・生産性向上コンサルティング
 - ・I S M S コンサルティング
 - ・金融機関向けコンサルティング
 - ・ソーシャルメディアコンサルティング
- (4) 経営革新事業部（4社）
 - 1) 中長期経営計画策定コンサルティング（1社）
 - 2) 人事制度改善コンサルティング（3社）
- (5) 国際標準化事業部
 - 1) マネジメントシステム構築、診断、研修、改善指導 他（50社）
 - ① I S O 9001（19社）
 - ② I S O 14001（8社）
 - ③ J I S Q 9100（航空宇宙産業品質マネジメントシステム）（1社）
 - ④ I S O 22000（3社）
 - ⑤ I S O 27001（6社）
 - ⑥ O H S A S 18001（5社）
 - ⑦ 統合（3社）
 - ⑧ その他コンサルティング（I S O 39001、V M 他）（5社）
 - 2) P マーク審査センター（344社）
 - ① 一般財団法人日本情報経済社会推進協会（J I P D E C）の認定を受けたプライバシーマーク審査指定機関（指定機関コード19）として、中部地区（愛知、岐阜、三重、石川、富山）の事業所を中心にプライバシーマーク認証及び2年毎の更新認証のための審査認証業務を実施
 - ② プライバシーマーク審査指定機関として、プライバシーマーク主任審査員（12名）、審査員（13名）、審査員補（1名）、合計26名の人員をJ I P D E Cに登録
 - ③ 本年度の申請件数344社（登録審査60社、更新審査283社、吸収・合併審査1社）

3) 情報セキュリティ監査センター (4社)

①情報セキュリティ監査

経済産業省による情報セキュリティ監査制度に基づく監査を実施

- ・産業廃棄物処理業の情報セキュリティ監査

②コンサルティング

- ・食品製造業の5S及び衛生管理コンサルティング
- ・産業廃棄物処理業のISO9001認証取得支援
- ・産業廃棄物処理業のISO9001認証継続支援

(6) JMS事業部

1) コンサルティング (国内26社)

①日本経営管理標準 (JMS) およびトヨタ生産方式 (TPS) を柱とした企業変革コンサルティングを実施 (主として長期継続)

- ・産業機械メーカー 製造体質強化活動
- ・重機械メーカー 生産革新コンサルティング
- ・化学メーカー 4拠点における生産革新コンサルティング
- ・ベアリングメーカー 業務品質向上活動
国内9拠点、海外3地域における生産革新活動支援
コンサルティング
- ・電力設備機器メーカー 改善支援コンサルティング
- ・食品メーカー 13事業所における設備生産性向上活動
- ・電気機器メーカー JITをベースにした生産革新コンサルティング
- ・試験機メーカー 生産革新コンサルティング
- ・建機メーカー 生産革新コンサルティング
- ・電線ケーブルメーカー 生産革新コンサルティング
- ・熱処理メーカー スピード&効率化 革新コンサルティング
- ・電機メーカー 最短リードタイム実現に向けたコンサルティング
- ・食品メーカー 業務改善プロジェクト
- ・建材メーカー 設備生産性向上活動コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 企業体質強化コンサルティング
- ・鉄製品加工メーカー 改善塾
- ・自動車部品メーカー 全工程後補充生産体制コンサルティング
IEによる高生産性工程づくり支援
- ・重機メーカー 技術革新コンサルティング
コスト低減コンサルティング
- ・自動車部品メーカー コスト改善コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 生産・物流一気通貫革新コンサルティング
- ・自動車部品メーカー 人事制度改革コンサルティング

- | | |
|------------|-------------------|
| | 管理間接部門効率化コンサルティング |
| ・食品メーカー | 工場改善活動支援 |
| ・電子部品メーカー | 生産革新コンサルティング |
| ・輸送用機器メーカー | 自工程保証推進支援コンサルティング |
| | 設計部・原価企画部コンサルティング |
| ・材料メーカー | モノづくり革新コンサルティング |
| ・工作機械メーカー | 生産改善活動 |

②中国企業の企業革新コンサルティングの実施（5社）

2) [職場活性化支援センター]

①調査

- ・第2回「職場の活性化とメンタルヘルス」に関するアンケート調査および報告書の作成

実施時期：平成23年6月20日～7月31日

実施方法：アンケート調査票郵送方式

調査対象：中部産業連盟会員企業のうち、当連盟会員向け機関誌を定期郵送している766社の
経営者、もしくは安全衛生管理責任をもつ役員

回答企業：165社（回収率 21.5%）

調査内容：企業におけるメンタルヘルスと職場活性化に関する実態と認識を分析・解明するた
めに、次のテーマについて調査を行った。

- 経営者のメンタルヘルスに対する認識
- メンタルヘルス施策の取組状況と評価
- メンタルヘルスの不調に関する状況
- メンタルヘルス不全に対する経営層の態度／姿勢、考え方
- 東日本大震災の影響

- ・企業内アンケート調査（2社）

職場アンケート

MHQ診断および解説

②電話相談窓口年間契約（2社）

「ハラスメント専用電話窓口」

「従業員の心の電話相談窓口」

③震災による心の悩み電話相談をボランティアで実施（4社）

(7) マネジメント研修事業部

コンサルティングの企画・提案（35プロジェクト）

- 1) 生産現場改善コンサルティング
- 2) 職場活性化支援
- 3) 小集団活動支援
- 4) 商品開発支援
- 5) 次世代幹部育成

- 6) 営業マンメンタル強化
- 7) 人事制度改革、評価制度改革
- 8) 教育制度立案
- 9) コーチング
- 10) カウンセリング
- 11) Pマーク
- 12) 中国プロジェクト

中産連北京事務所による、中国日系企業及び中国民营企业に対する経営管理革新支援、人材育成支援、情報サービス活動

(8) 東京本部 (60社)

1) 「経営」「人材」「職場」の3つの視点からのコンサルティング

VM (Visual Management=目で見る経営) 活動の推進による企業体質の改革、見えるフレキシブル生産システム (VM-FMS) の確立による生産革新、生産現場改善によるコストダウン、5S活動の推進、在庫削減とリードタイム短縮の推進、間接部門の5S・ファイリング・VMの推進、VMによる収益管理、人事制度の革新と組織の活性化の推進、賃金制度・退職金制度の改革、企業内教育体系の構築・整備、業績評価制度の導入・展開、職場力診断と職場力開発支援、自律度診断及び自律型社員を育てる研修体系作成支援、中小企業の企業再生、マーケティング戦略の策定と展開、販売管理体制の確立、ISO9001、ISO14001、ISO27001、ISO22000認証取得のための品質保証体制の確立などのコンサルティングを実施

2) 業務協力によるコンサルティング

- ①(株)商工中金経済研究所、静銀経営コンサルティング(株)、(株)ちばぎん総合研究所、東京中小企業投資育成(株)、SMB Cコンサルティング(株)と業務協力し、民間企業に対するコンサルティングを受託し、共同でコンサルティングを実施
- ②中小企業基盤整備機構、各県庁・市役所及びその関連団体などの公的機関から依頼を受け、地域の中小企業に対するコンサルティング活動を実施し、地域の中小企業の人材育成と企業の発展に協力

[研究開発事業]

1) 職員の発表論文と受賞状況

第63回全国能率大会

第I部 平成23年7月12日

- ・経済産業政策局長賞 (第62回大会発表論文)

新たなProcess Design & Chain Management『I-P-O』法

「設計／試験」現場に潜む【5大ロス】と【仮説・検証解】

上席主任コンサルタント 町野 隆美

- ・全日本能率連盟賞 (第62回大会発表論文)

マネジメントシステムを活性化する法規制管理

研究員 熊澤 晶子

第Ⅱ部 平成23年8月31日、当連盟職員が研究論文を発表
発表論文（第63回大会発表論文）

- ・ 報告書の改善を通じた企業の効率化・活性化・創造化

コンサルタント 加藤 久仁明

- ・ 「ロスの見える化によるコストダウンと環境負荷低減」
～M F C Aアプローチによる～

研究員 熊澤 晶子

- ・ 全社的リスクマネジメントの実践事例

コンサルタント 黒田 啓介

- ・ プロセス型産業におけるキャッシュを増大させる活動の実践

コンサルタント 花井 康孝

2) 平成23年度 (株)全日本能率連盟 顕彰者

顕彰牌 小坂 信之、横山 太郎

表彰牌 浦野 貴、松村 佳洋

3) 専門書、専門誌などの活動

- ・ 「月刊食品工場長」日本食糧新聞社
“食品工場のマネジメント力の向上”

山崎 康夫（平成23年3月～4月、6月～8月号）

- ・ 「月刊食品工場長」日本食糧新聞社
“食品工場のマネジメント力の向上”

伊東 辰浩（平成23年5月号）

- ・ 「工場管理」日刊工業新聞社
“【特集】V M - F M S（見えるフレキシブル生産システム）の構築を急げ！
変化への対応力を高める まるごと工場改革の進め方”

五十嵐 瞭・小坂 信之・山崎 康夫・小林 啓子（平成23年6月号）

- ・ 「工場管理」日刊工業新聞社
“easy English Conversation [実践 かんたん5S英会話]”

松崎 久純（平成23年8月～平成24年3月号）

- ・ 「文明とマネジメント」ドラッカー学会
“ドラッカーとマネジメントの哲学としての「自己目標管理」”

福山 穰（平成23年11月）

- ・ 「カジュアルゴルフ」(株)ニイニイロク
“ビジネスマン・ゴルファーに捧げる [頭脳派ゴルフ] のススメ”

吉田 薫（平成23年11月～平成24年3月）

- ・ 「流通ネットワーキング」日本工業出版
“中小包装メーカーの実践的BCP”

小栗 義裕（平成24年1・2月号）

4) 中産連マネジメント大会

当連盟所属コンサルタントが、日頃の活動をとおして研究・開発したマネジメント手法のポイントと導入成果を名古屋・東京で発表

・第24回マネジメント大会（名古屋）

開催日：平成23年11月9日

会場：名古屋東急ホテル

参加人数：465名（第1部会 313名 第2部会 152名）

大会テーマ：激動のグローバル時代を生き抜く経営改革

～商品開発力・生産現場力・マネジメント力・人財力で競争に打ち勝つ～

基調講演「グローバル展開の現状と課題」－わが社の歩みから－

(株)榎屋 代表取締役社長 大原 康之氏

(中産連 評議員)

《第1部会》

事例発表

- ・「目で見る基準書」で進める現場改善プログラム

～グローバル競争に勝ち抜く現場力をつくる～

(株)榛葉鉄工所 代表取締役社長 榛葉 貴博氏

製造部係長 柏原 利広氏

中産連 上席主任コンサルタント 三木 素直

- ・グローバル競争に勝つための技術部門の革新的製品開発の進め方

－人材活用とリードタイム短縮の戦略・戦術設計－

上席主任コンサルタント 町野 隆美

《第2部会》

- ・“日本発”省資源活動の国際標準MFC A：

ものづくり現場の改善活動を体質化する手法

上席主任コンサルタント 梶川 達也

- ・“日本”の会社づくりと人づくりを世界に

～将来の発展に向けて、今なすべきこと～

主幹コンサルタント 福山 穰

- ・第18回東京マネジメント大会

開催日：平成23年10月5日

会場：アルカディア市ヶ谷

参加人数：130名（経営革新部会91名 人材マネジメント部会39名）

大会テーマ：変化を機会と捉え、「全員の力と技」で経営革新を！

・経営変革を実現する「戦略／収益VM」の活用事例

上席主任コンサルタント 小林 啓子

- ・設計・開発部門の効率を2倍に向上させる“見える化”改革
 - VMによる設計リードタイム短縮の進め方-

上席主任コンサルタント 山崎 康夫

- ・VM-FMS（見えるフレキシブル生産システム）で実現する生産革新

主席コンサルタント 小坂 信之

- ・事例発表「VM・6Sによる継続的な経営革新とVM本賞への挑戦」

(株)埼玉富士 代表取締役社長 堤 繁氏

5) 他機関が企画した海外への調査・視察団に当連盟職員が参加

名 称	派遣先	主 催	期 間	参加者数
2011年 Management Consulting Conference	ヘルシンキ (フィンランド国)	欧州経営コンサルタント 団体連合会 (FEACO)	平成23年6月18日 ～平成23年6月25日	3

国別状況報告・講演

演題：「日本産業の未来とマネジメントコンサルタントの使命」

(社)全日本能率連盟 会長 竹内 弘之 (中産連 副会長)

2. セミナー事業（企業内）

(1) コンサルティング事業部

1) コンサルティング・グループ（人事・マーケティング・総合）（75社）

①管理職から中堅・新入社員までの全社的な階層別研修

管理・監督職だけでなく、次世代リーダー育成、新人・新入社員の早期育成までを含んだ階層別研修（対象：民間企業から公的機関）

②人事諸制度関連の研修

方針・目標管理の導入や評価者訓練、昇格・昇進者教育まで。（対象：民間企業から公的機関）

③各種の機能別研修会

マーケティング・販売戦略の見直しに関する研修会

2) コンサルティング・グループ（生産）（60社）

国内外の製造業の開発・生産系の管理・監督職を対象に、必要な研修を提供する。従来からの現場改善、IE、品質管理、生産分野の各種経営管理の基本的な研修のみならず、個別企業のニーズに即した長期の総合的な研修の設計・実施、また、グローバル化に対応した研修も国際研修部に協力しておこなう。従来のを改良、また新規に開発した研修テーマも含め、以下のようなものがある。

- ・トヨタ流ものづくり実践導入研修
- ・TPSベースの環境変化に強いモノづくり軍団の育成研修
- ・「品質力」構築／強化支援プログラム
- ・現場工場力向上ムダ取り改善研修
- ・設計／試験プロセスの改革支援プログラム
- ・設計開発・生産準備活動の構築研修

- ・資材購買のコストダウン研修
- ・グローバル生産系管理・監督者研修
- ・プロジェクトマネジメント研修
- ・I E（基礎・実践）研修
- ・品質管理研修（初級・中級・上級）
- ・製造系管理・監督者研修
- ・職場問題解決（初級・中級・上級）
- ・原価企画／管理研修
- ・マネジメント手法研修
 - 経営体系（TQM、方針管理、海外工場運営）
 - 機能別（品質保証、FMEA／FTA、設備管理）
 - 職場運営（小集団、リーダーシップ、作業標準）

3) 長野コンサルティング部（4社）

多数の事業体を擁する企業等を中心に、経営基盤の強化のための企業内研修を実施した。

- ①経営革新関連では、事業体毎の原価構造を改善するための収支構造改革技法
- ②生産革新関連では、付加価値増殖生産のための日々管理（余力管理技法及びA-KOMIKなど）
- ③人材革新関連では、ものづくり一連プロセスを品質コントロールする見極め及び攻め方スタッフの育成など

(2) 経営企画営業支援部（20社）

管理職から中堅・新入社員研修までの全社的階層研修、品質管理研修、プロジェクトマネジメント研修、創造性開発研修等の企業内研修を実施

(3) マネジメント貢献事業部（15社）

1) 個別企業への企業内研修の開催

- ・メンタルヘルス
- ・階層別研修会
- ・生産性向上のための研修会
- ・品質向上のための研修会
- ・新入社員研修
- ・コンプライアンス推進向け研修
- ・管理職向け研修
- ・留学生就職支援
- ・フォーラムパネリスト

(4) 経営革新事業部（3社）

- 1) 管理職研修 2社
- 2) 人事考課者研修 1社

(5) 国際標準化事業部（105社）

- 1) 各種規格の解説研修、内部監査員養成研修 他 103社

- ① I S O 9001 41社
 - ② I S O 14001 25社
 - ③ I S O 22000 1社
 - ④ I S O 27001 2社
 - ⑤ I S O 13485 1社
 - ⑥ O H S A S 18001 10社
 - ⑦ B C P 1社
 - ⑧ 統合 10社
 - ⑨ その他 (V M 他) 12社
- 2) 情報セキュリティ監査センター 2社
- ① IS014001内部監査員養成研修
 - ② 事業継続計画 (B C P) 解説
- (6) J M S 事業部 (41社)
- 1) J M S 事業 23社
- ① J M S 研修 1社
 - ② 管理能力向上プログラム 2社
 - ③ 協力会社向管理能力向上プログラム 1社
 - ④ 新入社員研修 (P D C A とチームワーク力向上) 1社
 - ⑤ ものづくりシュミレーション中堅社員研修 1社
 - ⑥ ものづくりシュミレーション新入社員研修 1社
 - ⑦ 標準作業の改善研修 1社
 - ⑧ T P S 研修 2社
 - ⑨ コミュニケーション研修 3社
 - ⑩ 社内講演会 7社
 - ⑪ ジャストインタイム体感演習 1社
 - ⑫ H O S トップマネジメント研修 1社
 - ⑬ 営業研修 1社
- 2) 職場活性化支援センター (18社)
- ① クレーム対応とメンタルヘルス 2社
 - ② 管理職向け メンタルヘルス研修 7社
 - ③ 相談員研修 1社
 - ④ 指導員研修 (メンター) 1社
 - ⑤ コミュニケーション研修 (コーチング アサーション ファシリテーション 聴く・伝える) 5社
 - ⑥ リーダーシップ研修 1社
 - ⑦ 階層別コミュニケーション研修 (Q4・Q5・転換者) 1社
 - ⑧ 安全衛生大会メンタルヘルス研修 1社

(7) マネジメント研修事業部

企業内研修の企画・提案（151プロジェクト）

- 1) 製造現場技能伝承塾
- 2) 製造現場向け技術・技能養成
- 3) 品質管理（QC）
- 4) 安全
- 5) 中堅技術者研修
- 6) 幾何公差設計、材料・構造力学
- 7) 経営計画・方針・目標管理有効活用
- 8) 人事評価研修、人事考課者訓練
- 9) 法務
- 10) ビジネススキルアップ
- 11) ヒューマンスキルアップ
- 12) 階層別基本研修（管理者研修、TWI研修、新入社員研修等）
- 13) OJTインストラクター
- 14) 接遇マナー研修、女性向け仕事の進め方
- 15) 営業管理能力向上研修
- 16) カウンセリング・相談室
- 17) メンタルヘルス
- 18) アクションラーニング
- 19) 貿易
- 20) ISO9001、ISO14001、TS16949
- 21) 5S
- 22) 食品
- 23) 図面の見方・読み方研修

(8) 東京本部（54社）

CAP（中産連アセスメントプログラム）による経営者、管理者、監督者の階層別企業内教育研修、アクションラーニング研修、人事考課者訓練の実施、昇格者研修、リーダー研修、戦略マネジメント研修、新入社員研修、新入社員フォローアップ研修、自律型社員育成研修（入社0.5年目、3年目、5年目、7年目等）、職場力強化の為の職場単位研修、職場リーダー育成研修、コーチング研修、及び5S・VM、在庫削減、品質管理、物流改善、ISO9001と14001認証取得のための内部品質監査員養成などをテーマとした研修を、企業内で実施。

3. セミナー事業（公開）

(1) 木曾駒塾運営事務局

第2期木曾駒塾（次世代経営リーダー啓発の場）の開講（25社25名参加）

- 1) 塾の目的

中部産業界から優れたリーダーを輩出したいという経営者の方々の思いにより、次代の中部産業界を担う高い志を持ったリーダーを育成するために、中部産業界ゆかりの地にちなんで「木曾駒塾」と名づけ、平成22年度より開催。

中部産業界の将来を担うリーダー候補が参加し、発起人の講義による思いの共有とディスカッションによる切磋琢磨を中心とした研修を実施。

2) 発起人及び講師〔50音順〕

岡田 邦彦氏 (J. フロント リテイリング㈱相談役)

小澤 正俊氏 (大同特殊鋼㈱代表取締役会長)

川口 文夫氏 (中部電力㈱相談役)

柴田 昌治氏 (日本ガイシ㈱相談役)

須田 寛氏 (東海旅客鉄道㈱相談役)

多賀 潤一郎氏 (イビデン㈱最高顧問)

内藤 明人氏 (リンナイ㈱代表取締役会長)

渡辺 捷昭氏 (トヨタ自動車㈱相談役)

竹内 弘之 (中産連 副会長)

【コーディネーター】

青井 倫一氏 (慶應ビジネススクール名誉教授 (元同スクール校長))

3) カリキュラム

第1講から第6講まで全6回の講義とグループ討議及び年度末に成果発表会を実施。なお、第2講から第4講は、木曾駒高原ホテルでの2泊3日の合宿にて実施。

テ ー マ	講 師	開催日	開催場所
第1講 「鉄道経営論」	東海旅客鉄道㈱ 相談役 須田 寛氏	平成23年 8月26日	名古屋東急ホテル
第2講 「国際競争の中 成熟産業社会の日本における経営者としての考え方」	リンナイ㈱ 代表取締役会長 内藤 明人氏	平成23年 10月7日	木曾駒高原ホテル
第3講 「『漱石』をたずねて」	イビデン㈱ 最高顧問 多賀 潤一郎氏	平成23年 10月8日	木曾駒高原ホテル
第4講 「What is Roots?」	大同特殊鋼㈱ 代表取締役会長 小澤 正俊氏	平成23年 10月8日	木曾駒高原ホテル
第5講 「次世代リーダーへの期待」	トヨタ自動車㈱ 相談役 渡辺 捷昭氏	平成23年 12月9日	中産連ビル
第6講 「東アジアの国際関係を考える」	中部電力㈱ 相談役 川口 文夫氏	平成24年 1月25日	中産連ビル

* 成果発表会を平成24年3月6日に名古屋東急ホテルにて、発起人、講師、参加企業の会長、社長をはじめ経営者の方々をお招きし実施。

(2) トヨタ生産方式研究会

トヨタ生産方式研究会の開催

研究会は開講30周年を超え、時代の変化と共に進化し、かつ時代の変化の中でも不変であるトヨタ生産方式の本質をトヨタ自動車ならびにトヨタグループ各社のご協力の下、より一層正しく普及啓蒙を図る。

震災の影響から開催概要は大幅な変更となったが、トヨタグループ各社の多大なるご協力の下で開催に至った。

<研究会概要>

特別講演「トヨタ生産方式の本質と進化」

講演者 トヨタ自動車(株) 常務役員 三浦 憲二氏

内 容 と 講 師	期 間
第65回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者220名】 (春季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 他6名	平成23年 5月18日～19日 (2日間)
第65回 PART II 「作業改善」研修 東日本大震災の影響を考慮し延期	平成23年 6月12日～17日 (6日間)
第66回 PART I 「改善の進め方」講座 【参加者270名】 (秋季) 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 他6名	平成23年 10月12日～14日 (3日間)
第66回 PART II 「作業改善」研修 【参加者 46名】 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 同部主査 松本 光一氏、西本 勝利氏 会場：アイシン精機(株) 新豊工場 (株)デンソー 高棚製作所 トヨタ紡織(株) 堤工場 豊田合成(株) 尾西工場	平成23年 11月6日～11日 (6日間)
特別開催 PART II 「作業改善」研修 【参加者 21名】 延期となった第65回のフォローアップとして開催 講師：トヨタ自動車(株) 生産調査室 室長 二之夕 裕美氏 同部主査 西本 勝利氏 会場：(株)東海理化 本社工場 (株)豊田自動織機 碧南工場	平成24年 2月19日～24日 (6日間)

(3) コンサルティング事業部

1) 国際研修部

セミナー名	期間	研修日数
2011年「日英対訳で学ぶドロッカー」	平成23年5月18日～7月27日	3
組織的に成功する英語学習－語学習得の具体的方法	平成23年10月18日	1
海外現地法人で活かす 「異文化理解」と「円滑なコミュニケーション」	平成23年 6月21日 11月22日	2
海外で成功する改善業務 「指導の仕方」「指導の順序」	平成23年 7月26日 12月13日	2
米国ハワイ州立大学 第15回 「エグゼクティブ短期特別プログラム」	現地研修： 平成23年6月10日～7月2日 事前研修： 平成23年1月～5月	23 5
「MBAの英語特別プログラム」	平成23年2月5日～5月28日	16

2) 長野コンサルティング部

①現場ですぐに使えるポカミス対策講座 (2回 61名)

②研究会方式による監督者交流会第8期 (7社 18名)

(4) 経営企画営業支援部

テーマ	開催日	講師	参加者数
「売上げ拡大」「在庫活用」のためのビジネス マッチングセミナー (内容) ビジネスマッチングの現状と課題、 マッチングの仕組み、 リマーケット・エージェンシーが提案するビジ ネスマッチングと「在庫活用」方法、中産連の 取組み事例 他	平成23年9月16日	榎野村総合研究所 金融システム事業推進部 上級コンサルタント 尾川 宏豪氏 NPO法人日本動産鑑定 理事長 久保田 清氏 中産連 プロジェクトマネジャー 石井 健友 他	59

(5) マネジメント貢献事業部

1) 技術経営研究会 (MOT) <2期> (日本政策投資銀行と共催) (8社参加)

平成23年6月～平成24年3月 計14回実施

内容：技術経営にかかる戦略分析の「フレーム・道具」を用いて、受講者自身が自社分析（現況・課題の分析、5～10年後のあるべき姿（ビジョン）の構想、ビジョン達成のための技術戦略シナリオ設定）を行い、その結果を経営者（研修責任者）に報告する。

	内 容	開 催 日	講 師
第1回	<ガイダンス/問題提起> ・カリキュラムガイダンス/問題提起 ・事業環境分析 (I)	平成23年 6月27日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏
第2回	<講義・演習> ・経営戦略の基本 ・経営戦略/マーケティング	平成23年 7月5日	㈱価値総合研究所 取締役マネジメントコンサルティング事業部長 シニアコンサルタント 保見 明博氏
第3回	<講義・演習> ・経営戦略の応用 ・製造業における経営戦略論	平成23年 7月19日	九州大学大学院 准教授 目代 武史氏
第4回	<講義・演習> ・財務分析 (I) ・技術経営と組織	平成23年 8月5日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター 副調査役 向笠 雄介氏 横河電機㈱ 研究開発部 戦略チームリーダー 伊原木 正裕氏
第5回	<講義・演習> ・事業環境分析 (II) ・品質管理と人材育成	平成23年 8月23日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏 元 トヨタ自動車㈱ TQM推進室 主査 平井 勝利氏
第6回	<講義・演習> ・財務分析 (II) ・企業価値評価の基礎	平成23年 9月12日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター 副調査役 向笠 雄介氏 ㈱日本経済研究所 ソリューショングループ 西田 陽介氏
第7回	<講演> ・新興国市場の現況	平成23年 10月7日	甲南大学 経営学部 教授 安積 敏政氏
第8回	<講義・演習> ・ビジネスモデルという考え方	平成23年 10月17日	名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 真氏
第9回	<講義> ・技術ロードマップとCEOの役割	平成23年 11月1日	独立行政法人理化学研究所 社会知創成事業研究コーディネーター 小笠原 敦氏
第10回	<講義・演習> ・ケース分析解説 ・事業環境分析 (III)	平成23年 11月24日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏
第11回	<交流会> ・先進技術の見学会、他地域製造業とのディスカッション <講義・演習> ・グローバルリスクマネジメント ・海外拠点の財務管理	平成23年 12月21日 22日	パナソニックインターナショナル㈱ 中村 佳伸氏 細井 豊蔵氏 藤猪 正敏氏 吉田 泰氏 梅木 太氏
第12回	<講演> ・将来技術展望に関する識者講話 ・海外拠点管理の勘所と経営管理	平成24年 1月27日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏
第13回	<ケーススタディ分析> ・グループ報告・ディスカッション	平成24年 2月15日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏
第14回	<総括ディスカッション> ・自社分析総括	平成24年 3月8日	㈱日本政策投資銀行 技術事業化支援センター センター長 島 裕氏

2) グローバルマネジメントプロジェクト

平成23年9月～平成24年3月 計8回実施（7社）

内容：海外人材に特化した研修とともに異文化理解力を備えた日本人社員のグローバル化教育、人事処遇制度、生産体制の強化・改善など「グローバルビジネスの課題解決」というテーマの下に、人材育成・組織改革のノウハウを整理・充実化を図る。

開催日	内 容	講 師
平成23年9月7日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント（ヒト編）	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年10月5日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント（カネ編）	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年10月11日(水)	中国現地法人運営における留意とポイント （現地事情編）	東海日中貿易センター 事務局次長 大野 大介氏
平成23年11月30日(水)	中国ビジネスで勝利するための交渉術	海外職業訓練協会 国際アドバイザー 平沢 健一氏
平成23年12月13日(火)	ものづくり企業のための海外進出基礎知識 ～インドネシア編～	愛知・物づくりソリューションティーチャ 河村 邦彦 氏
平成24年1月17日(火)	ものづくり企業のための海外進出基礎知識 ～インドネシア編～	大同メタル工業(株)バイメタル製造所 業務推進室長 加知 肇氏
平成24年3月6日(火)	激動するアジア戦略（講師派遣）	甲南大学 教授 安積 敏政氏
平成24年3月14日(水)	海外赴任制度構築のための留意点（講師派遣）	中産連 理事 国際研修部長 福山 稔

3) 経営後継者研修塾（J E A短期集中コース）

平成23年9月～平成24年3月 計20回実施（5社）

内容：経営後継者・経営幹部育成のノウハウを活かし、経営のあり方や事業戦略・事業継承等に関する知識を磨くための研修塾。

	内 容	日 程	講 師
第1回	講義・演習 開講の集い これからの企業経営に必要な経営戦略①	平成23年9月14日(水)	竹内 弘之（中産連 副会長） 肌附 安明氏（HY人財育成研究所 所長）
第2回	経営者訪問	平成23年10月26日(水)	甘利 昌彦氏 （旭サナック(株) 代表取締役社長）
第3回	経営理念、リーダーシップ 経営プロジェクト計画技法①（講義）	平成23年10月5日(水)	加藤 久仁明（中産連 コンサルタント）
第4回	経営者訪問	平成23年10月12日(水)	瀧川 克弘氏 （未来工業(株) 代表取締役社長）
第5回	魅力的な経営者の条件① 経営者に必要な法律とは①	平成23年10月19日(水)	竹内 弘之（中産連 副会長） 杉山 泰一郎氏 （片山主水法律事務所 弁護士）
第6回	経営プロジェクト計画技法②（演習）	平成23年11月2日(水)	加藤 久仁明（中産連 コンサルタント）
第7回	経営者訪問	平成23年11月7日(月)	吉田 隆彦氏 （(株)ヤマガタヤ 代表取締役社長）
第8回	経営プロジェクト計画技法③（演習）	平成23年11月16日(水)	加藤 久仁明（中産連 コンサルタント）

	内 容	日 程	講 師
第9回	魅力的な経営者の条件② 経営者に必要な法律とは②	平成23年11月30日(水)	竹内 弘之 (中産連 副会長) 杉山 泰一郎氏 (片山主水法律事務所 弁護士)
第10回	経営者訪問	平成23年12月6日(火)	内藤 明人氏 (リンナイ㈱ 代表取締役会長)
第11回	これからの企業経営に必要な経営戦略②	平成23年12月14日(水)	加藤 久仁明 (中産連 コンサルタント)
第12回	経営の視点から考える財務戦略①	平成24年1月11日(水)	花井 康孝 (中産連 コンサルタント)
第13回	経営者訪問	平成24年1月16日(月)	中村 信吾氏 (中村建設㈱ 代表取締役社長)
第14回	経営に活かすビジネスコーチング	平成24年1月25日(水)	杉藤 里美 (中産連 主任研究員)
第15回	事業承継から自社の経営のあり方を考える	平成24年2月1日(水)	葛谷 昌浩氏 (公認会計士 葛谷昌浩事務所 所長)
第16回	経営者訪問	平成24年2月9日(水)	高木 龍一氏 (㈱高木製作所 取締役社長)
第17回	経営の視点から考える財務戦略② ビジネスモデルの構築	平成24年2月15日(水)	花井 康孝 (中産連 コンサルタント) 西村 眞氏 (名古屋大学大学院 経済学研究科 教授)
第18回	企業経営と組織人材マネジメント	平成24年2月29日(水)	柘植 吉則 (中産連 主任コンサルタント)
第19回	経営者訪問	平成24年3月6日(火)	藤田 澈氏 (藤田螺子工業㈱ 取締役社長)
第20回	自社の目指すべき方向と事業戦略 (発表会) 修了の集い	平成24年3月13日(火)	加藤 久仁明 (中産連 コンサルタント)

4) 平成23年度地域新成長産業創出促進事業【経済産業省中部経済産業局補助事業】

契約期間：平成23年5月20日～平成24年3月31日

業務内容：今後ますます普及が進むと考えられる次世代自動車において、自動車産業の厚い集積を有している中部地域は、イニシアチブを発揮できる仕組みを作ることが強く求められている。そこで、中部産業連盟では、700社を超える会員企業や産官学のネットワークやマネジメント・人材育成に関するノウハウを活かし、次世代自動車ビジネス推進プロジェクト（以下、本事業）において次世代自動車に関する当地域の強みをさらに伸ばして新たな成長産業として育成して当地域を次世代自動車ビジネスの中核拠点化させることを目的に、

- ①サービスモデル開拓に向けた産学官連携体制（ネットワーク）構築、
- ②次世代自動車に取り組む中小企業向け技術高度化支援、
- ③次世代人材供給環境整備、
- ④地域ビジネス・技術のプロモーション支援

の各取組を推進した。

具体的取組実績として、TECH Biz EXPO 2011併催セミナー、技術開発セミナー、ビジネスセミナー、学生向けEV講座、グレーターナゴヤ都市モビリティ構想策定準備会、企業視察会・シーズ提案会並びに名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センターへの研究委託等を実施。

5) 中部地域と東北地域の新規事業創出促進のための次世代自動車関連企業

マッチング事業【経済産業省中部経済産業局補助事業】

「東北×中部 新たなモビリティビジネス創出に向けた産学官連携交流会 in 仙台」

契約期間：平成23年11月9日～平成24年3月31日

業務内容：次世代自動車は車輦のみならず、車載される蓄電池やスマートグリッド、ITSなどの周辺産業との連携による新サービス創出など、企業間の協業により新たなサービスモデル創出を見込むことが出来る。東北地域においては、震災からの復興のために次世代自動車関連の技術やサービスが貢献できると考える。そこで、中部産業連盟では、700社を超える会員企業や産官学のネットワークや次世代自動車推進ビジネスプロジェクトとの連携を活かし、次世代自動車のマッチング事業において、中部・東北両地域での次世代自動車産業と周辺産業との異業種連携促進を目的に、①東北地域に向けた異業種連携促進のための次世代自動車関連企業マッチング会、②マッチング会参加企業のデータベース化と個別フォローによる支援体制構築の各取組みを推進した。

6) 中小零細企業向け地球温暖化対策推進事業【愛知県委託事業】

契約期間：平成23年9月～平成24年3月16日

業務内容：地球温暖化問題については、温室効果ガスの排出削減を図るため、産業部門・業務部門・家庭部門等の各セクターが、それぞれの責務を果たす必要があるが、産業部門は二酸化炭素全排出量の5割以上、業務部門を併せると約7割を占める。中でも中小企業は、大企業と比べ温暖化対策の取組が進んでおらず、重点的な取組が求められている。中小企業に係るこれらの取組として、本県のモノづくりで培われた省エネ技術の中小企業への伝承、業界団体や地域経済団体と連携した中小零細企業への効果的な働き掛けにより、省エネ対策の一つのモデルケースとなるよう、省エネを推進できる人材の育成、省エネ対策等、地球温暖化対策の推進を図った。

7) 経営管理特別研究

(6) 経営革新事業部

1) 「中小企業診断士登録養成課程」(受講生10名)

中小企業者に適切な経営の診断および経営に関する助言をする中小企業診断士を養成する機関として本年度の第4期は10名が受講し、全員修了した。(平成23年3月8日に開講)

2) 「新産業・技術展」(30社訪問)

当プロジェクトは未来の日本を牽引する「新産業・新技術」をキーワードに、中部地域産業の発展に貢献するコミュニケーションの場を『シンポジウム+展示会+ビジネスマッチング』のコンセプトイメージをもとに開催していくプロジェクト。

スタートの年である昨年度は開催企画に必要なネットワーク育成に注力し、『新産業・技術シンポジウム+ミニ展示会』を開催。今年度には“次フェーズ”である『新産業・技術 シンポジウム+モデル展示会』の開催を前提に営業活動を実施。

(7) 国際標準化事業部 (参加者1,920名)

1) 公開セミナー

① I S O 9001関連 (113回、922名)

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修 *フォーマル、レベルアップ、スキルアップ、プロセス型 (名古屋、浜松、静岡、大阪、札幌、仙台、富山、金沢、福井、松本、高松、岡山、福岡)
- ・T S 16949規格の解説/内部監査員コース
- ・V D A - Q M C T S 16949審査員/6.3監査員コース
- ・2008規格のポイント理解
- ・経営に役に立つ I S O 9001
- ・品質方針-目標-プロセス展開実践プログラム
- ・有効性診断プログラム
- ・文書スリム化実践プログラム
- ・C P D 研修
- ・審査員養成コース (5日間コース:2回 名古屋) 他

② I S O 14001関連 (97回、750名)

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修 *フォーマル・スキルアップ (名古屋、浜松、静岡、大阪、仙台、富山、金沢、岡山、福岡)
- ・経営に役に立つ I S O 14001
- ・有効性診断プログラム
- ・環境目標の設定と管理
- ・C P D 研修
- ・リフレッシュコース
- ・審査員養成コース (5日間コース:4回 名古屋) 他

③ O H S A S 18001 (労働安全衛生マネジメントシステム) (7回、64名)

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修
- ・リスクアセスメント研修

④ I S O 27001 (情報セキュリティマネジメントシステム) (5回、24名)

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修

⑤ プライバシーマーク (個人情報保護マネジメントシステム) (5回、35名)

- ・内部監査員研修
- ・P M S 構築/運用研修
- ・個人情報保護法理解セミナー

⑥ I S O 22000 (食品安全マネジメントシステム) (5回、39名)

- ・規格の解説
- ・内部監査員研修

⑦VM（1回、8名）

2) 海外視察団

第14回 欧州環境視察団（6社6名）

- ・目的：「持続可能な発展にともなう環境経営」「マネジメントとしての効果的な取組み」を環境先進国である欧州の企業の現場を見て、肌で感じ、自社で活用してもらう
- ・日程：平成23年7月3日(日)～10日(日) 8日間
- ・訪問国：ノルウェー・ドイツ・チェコ

公 開 研 修	実施回数	延参加者数
I S O 9001研修 (含 T S 16949)	104	902
9001審査員コース (3日、5日間)	2	6
V D A T S 16949審査員・1st 2ndコース・VDA6.3	7	14
I S O 9001 (計)	113	922
I S O 14001研修	92	715
14001審査員コース (3日、5日間)	4	29
欧州環境視察団 (7/11-18) ※	1	6
I S O 14001 (計)	97	750
I S O 27001	5	24
Pマーク	5	35
I S O 27001・Pマーク (計)	10	59
O H S A S 18001研修	7	64
I S O 22000 (H A C C P) 研修	5	39
計測器セミナー	1	21
VM研修	1	8
統計的手法セミナー	1	5
最新エネルギー講演会	1	6
廃棄物処理解説セミナー	1	6
I S O 研究会 (研究会員：11社13名)	6	40
総 合 計	243回	1,920名

※ 「第14回 欧州環境視察団」を平成23年7月3日～10日に実施。

(ノルウェー・ドイツ・チェコ：6社6名参加／事務局を含め総勢8名参加)

3) Pマーク審査センター (4回 39名)

一般財団法人日本情報経済社会推進協会 (J I P D E C) の認定を受けたプライバシーマーク審査研修機関 (研修機関コード19) として、プライバシーマーク審査員研修・プライバシーマークフォローアップ研修等を実施

①プライバシーマーク審査員研修 (平成23年7月、24年1月開催) (5名)

②プライバシーマークフォローアップ研修 (平成23年6月、24年1月開催) (34名)

4) 情報セキュリティ監査センター (50名)

①公開セミナー

クラウド利活用最先端事例セミナー (2回 43名)

②視察団

第3回米国クラウド先進企業視察団 (2012年2月13日～18日) (7名)

訪問先：アメリカ合衆国西海岸 (サンフランシスコ～シリコンバレー周辺)

(8) JMS事業部

1) JMS推進機構

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JMS推進機構 特別企画 「当たり前のこと」実践豆知識 第3集 ・海外拠点に、次世代人材に、全部門に伝えたい、自社の強みを支える「当たり前」 発刊報告会	基調講演 事例解説 ・日本車輛製造株 鉄道車両本部 ・ヤマハ発動機株 AM事業部 AM第2技術部 ・高周波熱錬株 IH事業部 電機部	平成23年 7月14日	名鉄グランドホテル	【基調講演】 日本車輛製造株 生島 勝之氏 (代表取締役会長) 【講評】 JMS推進機構理事長 新美 篤志氏 (トヨタ自動車株 代表取締役副社長)	128

2) 実践型通年プログラム

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JMS管理能力向上プログラム	～サバイバル時代を生き抜くために～ 期待に応える部隊長をつくる！	各月開催 平成23年 4月13日 5月18日 6月15日 7月13日 8月17日 9月14日 10月12日 11月16日 12月14日 平成24年 1月18日 2月15日 3月14日	中産連ビル 研修室	中産連 客員研究員 太田 昭男	16
実践！TPSに基づくフォアマン育成研修	監督者の五大任務を学び現場の管理能力の向上を図る	平成23年 7月27日 9月5日 10月27日 12月8日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 野末 真克氏 鈴木 勝年氏 コンサルタント 吉尾 孝雄氏	20

3) 実践型プログラム

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
JITボード演習セミナー	混迷の時代の「生産管理」・「仕組み」を考える！！	平成23年 6月2日 3日	中産連ビル 研修室	中産連 主任研究員 杉藤 里美	22
「モノと情報と時間の流れ図」の描き方と活かし方	激動の時代に、新たなモノづくり競争力を導き出す一手！	平成23年 6月3日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 遠藤 清実氏	20
「モノと情報と時間の流れ図」の描き方と活かし方	激動の時代に、新たなモノづくり競争力を導き出す一手！	平成23年 11月11日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 遠藤 清実氏	18
「標準作業と改善」実践シミュレーション	模擬ラインでの標準3票を用いた改善とその着眼点について「実」体験、「即」実践！	平成23年 7月12日 13日	ウィルあいち	中産連 委嘱コンサルタント 野末 真克氏	15
「標準作業と改善」実践シミュレーション	模擬ラインでの標準3票を用いた改善とその着眼点について「実」体験、「即」実践！	平成23年 12月1日 2日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 野末 真克氏	15
「標準作業と改善」実践シミュレーション	模擬ラインでの標準3票を用いた改善とその着眼点について「実」体験、「即」実践！	平成24年 1月19日 20日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 野末 真克氏	11

4) その他セミナー

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成23年 6月6日	ウインクあいち	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	23
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成23年 7月11日	じばさん三重	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	11
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成23年 9月12日	Libra (りぶら) 岡崎市図書館 交流プラザ	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	11
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成23年 12月19日	アクトシティ浜松	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	13
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成23年 12月20日	東京八重洲ホール	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	13
営業力強化プログラム	この営業会議が効く！強い会社の戦略はここが違う。	平成24年 2月28日	名古屋国際センター	(株)ランチェスター マネジメント 代表取締役 河辺 佳朗氏	8

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
“現地で伝わる！”グローバル現場管理の抑え所	「日本のエンジニアリング」と「海外の生産現場」を結びつける	平成23年 8月31日	中産連ビル 研修室	中産連 委嘱コンサルタント 鈴木 雅文氏	7
JMSトップセミナー	危機は好機！ 新たな成長・生き残りに 重要な“企業潜在競争力” とは	平成23年 11月25日	ウインクあいち	中産連 理事 JMS事業部長 佐々木 元	13
「ジャスト・イン・タイム経営入門」発刊記念講演会	【第1部】 発刊記念基調講演「21世紀のものづくりとJIT経営～ものづくり経営の進化を求めて～」 【第2部】 「新たな成長・生き残りに重要な企業の“潜在競争力”とは」 【第3部】 「マネジメントの『不確定性原理』とTPS（JMS）の優位性について」 【第4部】 パネルディスカッション	平成23年 12月1日	アルカディア 市ヶ谷	【基調講演】 名城大学大学院 経営学研究科教授 河田 信氏 【第2部】 中産連 理事 JMS事業部長 佐々木 元 【第3部】 中産連 主任研究員 杉藤 里美	16
JMS公開セミナー 「生産技術編」	“生産技術”のあるべき姿へのアプローチ	平成24年 1月27日	中産連 東京本部	中産連 客員研究員 太田 昭男	12
JMS公開セミナー 「現場管理と改善編」	“現場管理と改善”のあるべき姿へのアプローチ	平成24年 2月22日	中産連 東京本部	中産連 客員研究員 太田 昭男	12
JMS公開セミナー 「現場管理と改善 海外特別編」	現地で伝わる！グローバル現場管理の抑え所	平成24年 3月2日	東京八重洲ホール	中産連 委嘱コンサルタント 鈴木 雅文氏	5

5) 職場活性化支援センター

名古屋セミナー

セミナー名	テーマ	開催日	開催場所	講師	参加者数
自己理解と改善トレーニング法	メンタル不全を予防する	平成23年 6月14日	中産連ビル 研修室	(株)ココロラボ 代表取締役 野田 浩平氏	5
明るい職場づくりのコミュニケーショントレーニング	メンタル不全を予防する	平成23年 10月26日	中産連ビル 研修室	中産連 主任研究員 杉藤 里美	6
自己理解と改善トレーニング法	メンタル不全を予防する	平成24年 2月24日	東京本部 研修室	(株)ココロラボ 代表取締役 野田 浩平氏	4

その他、中部経済新聞社主催「メンタルヘルス マネジメントフォーラム」

(11月2日開催)にてアンケート実施結果を発表

(9) マネジメント研修事業部

フォーラム・公開研修等の企画実施

分 野	プロジェクト数	社 数	参加者数
フォーラム事業	1	66	130
研究会事業	2	21	22
海外洋上研修事業	1	79	135
公開研修事業	323	2,742	3,858
海外受け入れ研修	13	73	367
補助事業	3		
受託事業	19	210	645
<合 計>	362	3,191	5,157

1) フォーラム事業 (1コース)

モノづくり応援フォーラム

テ ー マ (内 容)	開 催 日	講 師 名	参加者数
頑張る日本の製造業!!	平成24年3月21日	トヨタ自動車株 常務役員 井上 洋一氏 他9名	130

2) 研究会事業 (2コース)

①モノづくり研究会 (全7回コース)

②ヤング・エグゼクティブ・フォーラム (全12回コース)

3) 海外洋上研修事業 (1コース)

第27回中産連“創造の船”

期 間：平成23年10月23日～10月29日 (7日間)

訪問都市：北京・天津・上海・広州他

4) 公開研修事業 (階層別・分野別 323コース、2,742社、3,858名)

①階層別研修 (79コース)

取締役研修、経営幹部研修、モノづくりと人づくり 心の伝承塾、管理者・監督者・中堅社員の基本研修、新入社員研修シリーズ、接遇・ビジネスマナー研修、秘書実務研修等

②生産部門研修 (101コース)

製造部門階層別 (製造部課長研修、T W I 初級管理者研修、現場リーダー実践研修、製造現場社員研修、実践部下管理研修)、現場経営者研修 (工場経営)、現場リーダーの時間活用術、製造現場リーダーのための改善力向上、1日でわかる生産管理のすべて、I E手法による現場改善の進め方、モノづくり現場のムダ退治、ポカミス撲滅への体質改善と対策の進め方、やさしい設備の日常点検と管理の進め方、よくわかる現場の「油圧・空圧」、よくわかる現場の「電気・P C」、失敗しない多能工育成のための具体的手法、オペレーターのための設備保全の基礎、品質管理セミナー、5Sセミナー、機械加工入門研修、検査業務の取り組みと進め方、外注品質向上対策と協力工場の育成、よくわかる溶接技術基礎講座等

浜松・神戸・岡山・東京・熊谷・福岡・川崎・京都開催生産セミナー

③原価管理・購買部門研修（17コース）

原価のしくみと業務への活用法、原価管理の基本、新方式による「役に立つ」原価情報作成法、購買部課長の実務研修、購買・外注担当者の基本と実務研修、購入品のコストダウンと値下げ交渉、「単価交渉・値引き交渉」あの手この手、設計段階での原価のつかみ方と原価低減のすすめ方、V Eスペシャリスト（V E S）養成講座、新・V Eの基本実践セミナー等

④営業部門研修（23コース）

営業マネージャーの役割と実務、第一線営業職実践研修、技術営業担当に求められる知識と実務、営業初心者を即（速）戦力にする実践営業研修、営業鉄則と商談話術、セールストーク、営業アシスタント実践研修、会社の業績を伸ばすクレーム対応の極意、営業レター、競争時代を勝ち抜くマーケティング、新任営業担当者基礎力養成、提案型営業、新規開拓の基本と応用、受注を勝ち取る価格設定と原価見積のすすめ方、折衝力・交渉力修得研修、「コンサルティング型営業実践」研修等

⑤経理・財務部門研修（8コース）

決算書、簿記、年末調整、事業承継

⑥人事・総務部門研修（7コース）

労務管理研究会、人事担当者養成講座

⑦物流部門研修（5コース）

物流部門の役割と実務、実地棚卸と在庫削減の基礎実務、物流コスト削減と物流業務の生産性向上、在庫管理の基礎とコストダウン

⑧ヒューマンスキル・ビジネススキルアップ研修（60コース）

上司のコーチング術、部下を本気にさせる「上司の質問力」強化研修、人を動かすビジネスコミュニケーション術、製造現場のコーチング、人を育てる「ほめ方・叱り方」、部下のやる気を持続させる絶妙な「叱り方」の技術、職場のメンタルヘルス（心の安全研修）、聴き上手になる研修、チーム力アップのためのコーチング、自ら考え行動する「部下力（フォロワーシップ）の磨き方」、プラス思考の習得とチャレンジ精神の育成、決め事を守らせるには、会議ファシリテーター養成研修、契約書の基礎知識と実務、管理監督者が推進する実践的「報連相」、ロジカルシンキング、「A3用紙・1枚」で仕上げる企画書作成術、アイデア・思考を見える化させる「読解力×図解力」スキルアップ、段取り上手の仕事術、聞き手の納得を引き出すプレゼンテーション、楽観思考（EQ思考）の心理学、社内研修インストラクター養成講座、部下に必要な仕事と知識を教え込む3つの心得、“気配り上手の仕事術”4つの心得、職場モチベーションの創り方、打たれ強く成長するメンタルタフネスの育て方、リーダーシップ養成研修、目標への行動力とスピードをアップする「自己変革」研修、若手・中堅社員の異業種交流会研修、社会保険労務士講座（基本コース、横断整理コース、直前集中コース、模擬試験）等

⑨技術・開発・設計部門研修（11コース）

図面の見方・読み方、製図技能教育、機械設計製図教室、はじめて学ぶ設計者の心得と実務、商品企画力・開発力の基本、設計革新塾、F M E A - F T Aの実践、工場エアと省エネ、新任技術

スタッフ、技術者のための文章力向上研修等

⑩貿易部門研修（4コース）

貿易実務入門、貿易実務（演習編）研修、貿易のコスト計算と英文契約書

⑪食品製造部門研修（8コース）

異物混入、5S+殺菌・消毒、PRPとSSOP、クレーム対応、食品衛生指導法、食品安全とコストダウン

5) 海外受け入れ研修（13コース）

中国製造業企業管理技術訪日研修団、ドイツ企業マネジメントシステム研修等

6) 補助事業（3コース）

①「ものづくり分野の人材育成・確保事業（ものづくり担い手育成事業）・生産現場社員が知っておくべき切削加工技術の研修」全国中小企業団体中央会より

②「中部地域次世代自動車産業活性化のための人材養成事業・経営者のための次世代自動車最新技術動向講座」経済産業省中部経済産業局より

③次世代人材供給環境整備事業・工学系学生のためのよくわかる次世代自動車講座」経済産業省中部経済産業局より

7) 受託事業（19コース）

中小企業基盤整備機構中部支部 中小企業大学校瀬戸校（公開研修業務受託）

(10) 東京本部（参加者1,169人）

1) 講演会・大会

講演会・大会	テーマ（内容）	開催日	開催場所	講師名 （発表企業名）	参加者数
VM／見える化事例発表大会	～今こそVMによる 全員力経営を徹底し、 難局に立ち向かい、 明日を築く！～	平成23年7月11日	アルカディア 市ヶ谷	①大信産業株式会社 日信サービス株式会社 ②十和田パイオニア株式会社 ③ヤンマー株式会社 特機エンジン事業本部	168

2) 公開セミナー（61コース）

①生産・在庫・5S関連

- ・生産・事務現場／5S展開セミナー（2コース）24名
- ・5Sレベルアップセミナー（2コース）23名
- ・事務所の5S・ファイリング推進セミナー（4コース）72名
- ・生産現場の目で見える管理実践セミナー（2コース）21名
- ・生産管理改善実践手法習得セミナー 8名
- ・生産現場改革による徹底したコストダウンの進め方（2コース）26名
- ・業務改革成功のノウハウとその進め方（2コース）16名
- ・全部門における新発想のムダ改善（3コース）54名
- ・VM／見える収益管理の進め方（2コース）20名

- ・製造リードタイム短縮実現セミナー 7名
- ・全員力経営／全社改革の進め方 (2コース) 23名
- ・「モノづくり企業」全社改革の進め方 18名
- ・「VM／見える経営」活動の進め方 23名
- ・【管理・間接部門】VM／見える管理実践セミナー 10名

② I S O 関連

- ・ I S O 9001内部品質監査員養成コース (4コース) 49名
- ・ I S O 14001内部環境監査員養成コース (4コース) 38名
- ・「I S O “スリム化／統合化／VM (見える化)”」でムダ取り実現 (2コース) 10名
- ・緊急！食品企業におけるリスク対応セミナー 11名

③ 人材マネジメント関連

- ・もう一度見直す人材評価と動機づけ (2コース) 28名
- ・人事制度と人材評価の見直し点検の実戦的ポイント (15コース) 343名
- ・中堅企業の幹部社員を育成／実戦教育手法 14名
- ・徹底的な実戦教育手法により中堅企業の幹部社員を育成 (4コース) 29名
- ・リーダーシップ人材の行動変革のための教育研修手法のエッセンス 10名
- ・教育担当者のためのズバリ！解決セミナー 17名

3) 工場見学会を4件実施

VMに対する理解を深め、VMを普及していくために、VM先進企業の工場・オフィス見学会を開催。

- ・(株)埼玉富士 工場見学会 (3コース) 83名
- ・(株)日立コンピュータテクノロジー&マニュファクチャリング 工場見学会 24名

4. 国際協力事業

(1) 国際研修部

1) 国内での受託事業

本年度、独立行政法人 国際協力機構 (J I C A) から、日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 全社の品質・生産性向上研修コース等3コースを受託。

コ ー ス 名	期 間	研修員	研修日数
「日墨戦略的グローバル・パートナーシップ研修計画 全社の品質・生産性向上研修」コース	平成23年5月10日～10月7日	8名	108日
コロンビア「品質管理・改善」コース	平成23年11月14日～11月25日	14名	10日
「メルコスール地域における中小企業の経営・生産性向上」コース	平成24年1月26日～3月9日	10名	32日

* 若手企業人～管理職、行政関係者までを対象としている。

2) 友誼団体である財団法人 海外技術者研修協会 (AOTS) などの国内で実施する研修事業に講師派遣

コース名	実施機関	延件数
各種経営管理研修コース	AOTS	5件
高度開発人材育成事業	GRIPS	1件

3) 海外での活動

海外で実施する研修事業への講師派遣

コース名	主催	実施国	期間	研修日数
Seminar on Total Quality Management & Maintenance	I社	スリランカ	平成23年4月3日～4月7日	1日

(2) コンサルティング・グループ (生産)

1) インド・製造業経営幹部育成支援プロジェクト

インド政府が推進するプロジェクトに独立行政法人 日本国際協力機構 (JICA) とともに協力し、専門家を派遣。

内容	詳細	実施期間	実施場所
VLFM (Visionary Leaders for Manufacturing) プログラム支援	大企業と中小企業の連携推進	平成23年度 合計155日	インド各地

2) 南アフリカ「現場改善推進リーダー育成」支援

コース名	詳細	派遣期間	実施場所
「現場の問題解決・改善技法」研修	ケープタウン大学経営大学院と連携し、産業界の改善推進リーダーを育成	平成23年7月21日 ～8月2日 計13日	ケープタウン

5. 受託事務局事業

(1) マネジメント貢献事業部

環境パートナーシップ・CLUB (EPOC)

環境パートナーシップ・CLUBは、産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、循環型経済社会の構築を目指し活動 (平成12年2月17日設立)

<主な活動>

- ・環境行動の社会への浸透活動
- ・環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- ・環境行動に関する情報発信活動
- ・環境活動に関する国際交流活動

上記、諸活動を通じて中部圏から環境対応に関する様々な情報発信を行い、世界に誇れる環境先進地域の形成を目指している。

<環境パートナーシップ・CULBの役員と会員数>

会 長 松下 雋氏 (日本ガイシ㈱ 代表取締役会長)
副会長 佐伯 卓氏 (東邦ガス㈱ 代表取締役社長)
副会長 小池 利和氏 (ブラザー工業㈱ 代表取締役社長)
副会長 新美 篤志氏 (トヨタ自動車㈱ 代表取締役副社長)
副会長 宮池 克人氏 (中部電力㈱ 代表取締役副社長執行役員)
副会長 加藤 宣明氏 (㈱デンソー 代表取締役社長)
総合事務局長 竹内 弘之 (㈱中部産業連盟 副会長)
ほか理事13名 監事2名 顧問10名
会員数 268社(者) (平成24年3月末日現在)

(2) JMS事業部

日本経営管理標準 (JMS) 推進機構

1) 理事会

開催日：平成23年6月10日

内 容：平成22年度年間活動報告、平成23年度年間活動計画審議

2) 企画委員会

第一回 開催日：平成23年4月22日

内 容：平成23年度年間活動計画案の事前説明と討議

第二回 開催日：平成23年8月22日

内 容：平成23年度活動「現場実践研究会」の具体的な討議

第三回 開催日：平成23年10月27日

内 容：第一回現場実践研究会「NECアクセステクニカ㈱」

第四回 開催日：平成24年2月20日

内 容：第二回現場実践研究会「NECアクセステクニカ㈱」

3) 現場見学会 (上記企画委員会の他に開催)

開催日：平成23年5月16日

内 容：「トヨタ自動車 グローバル生産推進センター (GPC)」

4) JMS 制定10周年特別企画

開催日：平成24年2月10日

内 容：特別講演 日野自動車㈱ 相談役 蛇川 忠暉氏

「改革者 挫折を超えて」出版を祝う集い

(3) マネジメント研修事業部

外部機関からの委託事業の企画・運営

1) 日本設備管理学会 本部

業務受託 (総会・シンポジウム、大会の実施)

2) 日本設備管理学会東海支部

業務受託 (総会・シンポジウムの実施)

(4) 総務本部 会員事業部

1) 日本経営近代化協会 (SAM) 名古屋支部

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
セレンディピティ ～偶然からモノを見つけ出す能力～	平成23年 4月19日	SAM日本チャプター 会長 澤泉 重一氏	19
忘れられないあんな話、こんな話	平成23年 5月17日	(有)プランニングCan Do 代表 森本 曜子氏	16
モレなく、ダブリなく ～層別思考法のすすめ	平成23年 6月14日	佐野生産合理化研究所 所長 佐野 晶氏	17
舞台裏から見た「はやぶさ奇跡の生還」 と「宇宙飛行士物語」	平成23年 7月19日	大同大学 学長 宇宙航空研究開発機構 技術参与 澤岡 昭氏	26
風力発電の現状と将来展望	平成23年 8月23日	鳥取大学 名誉教授 林 農氏	20
SAM国際大会に出席して	平成23年 10月18日	愛知学院大学 名誉教授・商学博士 今光 廣一氏	19
放射能の基礎知識	平成23年 11月15日	国立大学法人名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏	20
ハンガリーに学ぶチャレンジ精神	平成23年 12月20日	名古屋大学大学院 法学研究科 研究員・学術博士 ロジュニョーイ・ヘドウィグ氏	19
民間航空機産業の将来動向について	平成24年 1月17日	中菱エンジニアリング㈱ 参与 梶浦 健治氏	16
ネット社会の落とし穴 ～サイバー犯罪の現状と対策～	平成24年 2月21日	愛知県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策室 警部 渡邊 勝徳氏 課長補佐 杉原 好則氏	19
小さな企業でも発揮できる強いブランド力 ～自社製品・サービスを一流ブランドへと高める戦略とは～	平成24年 3月19日	ブレインゲイト㈱ 代表取締役 酒井 光雄氏	19

2) 日本広報学会中部部会

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
第22回中部広報塾 「商品開発と広報の連携： 『ちょっと贅沢なミルクセーキ』」	平成23年 10月7日	(株)ポッカコーポレーション 渉外グループ ゼネラルマネージャー 執行役員 加藤 幸久氏 南山大学ビジネススクール 准教授 山下 忠康氏	33
広報シンポジウム 企業情報はメディア情報になる ～メディアは情報を探している～ 基調講演 「企業情報の発掘・創造・発信について」 パネルディスカッション 「愛知のメディアはこういう情報を求めている」	平成24年 3月14日	基調講演講師 フライシュマン・ヒラード・ジャパン 代表取締役 田中 慎一氏 パネルディスカッション： パネリスト 中京テレビ放送(株) 制作局 担当局次長 三澤 慎一郎氏 東海ラジオ放送(株) 制作局 制作部次長 北 敏明氏 (株)中部経済新聞社 編集局 編集局長 後藤 治彦氏 (株)東京ニュース通信社 出版事業局 局次長 影山 伴巳氏	41

Ⅲ. 業 務 報 告

1. 会 勢

平成24年3月末日現在の会員数は787社（入会29社、退会31社）である。

2. 会 議

(1) 総会

平成23年度通常総会

と き 平成23年6月15日(水) 15時～16時20分

と ころ 名古屋東急ホテル（3階 ルネッサンスの間）

出席会員 570会員

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成22年度事業報告および収支決算書類承認の件
- (2) 平成23年度事業計画および収支予算審議決定の件
- (3) 平成23年度理事選任（交替・増員）の件
- (4) 平成23年度評議員選任（交替）の件
- (5) 一般社団法人への移行に係る定款変更案、停止条件付承認の件
- (6) 一般社団法人への移行に係る最初の役員（理事・監事）停止条件付選任の件
- (7) 一般社団法人への移行に係る最初の名誉会長、顧問、相談役、評議員停止条件付選任の件
- (8) 一般社団法人への移行に係る最初の審議役停止条件付選任の件
- (9) 一般社団法人への移行に係る申請事項の件

ii 報告事項

(2) 理事会

第264回理事会

と き 平成23年5月20日(金) 11時～12時5分

と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル（3階 松竹の間）

出席者 理事45名、監事1名

（中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

- (1) 平成23年度通常総会開催日時および場所決定の件
- (2) 上記総会に提出すべき下記議件審議の件
 - 1) 平成22年度事業報告および収支決算案に関する件
 - 2) 平成23年度理事選任（交替・増員）に関する件
 - 3) 平成23年度評議員選任（交替）に関する件

- 4) 一般社団法人への移行に係る定款変更案、停止条件付承認の件
- 5) 一般社団法人への移行に係る最初の役員（理事・監事）停止条件付選任の件
- 6) 一般社団法人への移行に係る最初の名誉会長、顧問、相談役、評議員停止条件付選任の件
- 7) 一般社団法人への移行に係る最初の審議役停止条件付選任の件
- 8) 一般社団法人への移行に係る申請事項の件

(3) 平成22年度下期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

第265回理事会

と き 平成23年11月14日(月) 12時50分～13時50分
 と ころ 名古屋観光ホテル（2階 曙西の間）
 出 席 者 理事45名、監事1名、顧問1名
 （中部経済産業局より地域経済課課長補佐臨席）

議 件 i 承認事項

平成23年度上期新規入会会員の承認を求める件

ii 報告事項

- (1) 平成23年度上期実施事業ならびに収支実績報告の件
- (2) 一般社団法人への移行申請の件
- (3) その他

第266回理事会

と き 平成24年3月23日(金) 13時～13時50分
 と ころ ウェスティンナゴヤキャッスル（2階 金の間）
 出 席 者 理事45名、監事2名、相談役1名
 （中部経済産業局より地域経済課長臨席）

議 件 i 議決事項

平成24年度事業計画および収支予算案の件

ii 報告事項

- (1) 公益認定等委員会答申の件
- (2) 第3回評議員懇談会・交流会開催の件
- (3) その他

(3) 第3回評議員懇談会・交流会

と き 平成24年2月28日(火) 13時30分～15時20分
 と ころ 名古屋東急ホテル（3階 ロマネスクの間）
 出 席 者 評議員27名、常勤理事6名、執理事4名
 議 件 中産連の事業紹介、意見交換

3. 庶務

(1) 主務官庁への報告

1) 平成23年6月28日付経済産業大臣宛、平成22年度事業報告書及び収支決算書並びに平成23年度事業計画書及び収支予算書の提出について、下記書類を添えて報告した。

- ・平成22年度事業報告書
- ・平成22年度収支決算書および財産目録
- ・平成23年度事業計算書
- ・平成23年度収支予算書
- ・総会議事録謄本
- ・当該事業年度末の社員名簿

2) 平成23年7月8日付経済産業大臣宛、理事変更登記完了届の提出について、下記書類を添えて報告した。

- ・理事新旧名簿
- ・理事就任承諾書（写）、略歴書（写）
- ・登記簿謄本（理事変更）
- ・総会議事録謄本

3) 平成23年11月11日付経済産業大臣宛、登記事項変更登記完了届（理事変更）の提出について、下記書類を添えて報告した。

- ・辞任理事名簿
- ・登記簿謄本

(2) 登記事項

1) 平成23年6月29日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。

2) 平成23年11月8日名古屋法務局へ、理事変更を登記した。

(3) 職員の状況

平成24年3月末日現在の正職員は男子93名、女子40名の合計133名である。

4. 協力活動

(1) 外郭団体・研究会等に対する協力

当連盟が業務を受託、または協力している団体は下記のとおりである。

- ・J E A経営研究（J E C）
- ・経営企画士会（社）全日本能率連盟登録）
- ・日本設備管理学会 本部、東海支部
- ・日本経営近代化協会（S A M）名古屋支部
- ・日本広報学会 中部部会

(2) 関連法人

- ・中産連ビルディング㈱
- ・㈱リーム中産連

(3) 専門団体連絡協議会

マネジメントの分野で全国的に活動を行なっている13の公益法人（機関）で組織している専門団体連絡協議会（略称・専団連）のうち、12団体までが東京に本部をおいているが、当連盟は東京以外に本部を持つ唯一の全国的マネジメント専門団体として、この協議会の中核的メンバーとなっている。

5. 役・職員の対外的協力活動

竹内 弘之

(社)全日本能率連盟会長

経済産業省関係公益法人厚生年金基金理事・代議員

愛知工業大学経営学部客員教授

(公財)科学技術交流財団監事

JMS推進機構専務理事

環境パートナーシップ・CLUB（EPOC）総合事務局長

(財)人工知能研究振興財団監事

東海工学教育協会監事

(社)科学技術と経済の会運営委員会委員

(財)中部電気保安協会評議員

BPIA（ビジネスプロセス革新協議会）副会長

中部ニュービジネス協議会理事

なごや環境大学実行委員会委員

(学)日本福祉大学評議員

とくしま経営塾「平成長久手館」運営会議顧問

(財)永井科学技術財団顧問

(財)内藤科学技術振興財団評議員

中部運輸局中部トラック輸送適正取引推進パートナーシップ会議委員

愛知環境賞選考委員会委員

愛知ブランド評価委員会委員

名古屋大学大学院経済学研究科外部評価（社会的評価）委員会委員

愛知学院大学大学院経営学専任非常勤講師

五十嵐 瞭

(社)全日本能率連盟全国能率大会論文委員会委員

(社)全日本能率連盟マネジメント関係資格認定・認証審査委員会委員

(社)全日本能率連盟MC認定制度審査会委員

清水 益文

(社)全日本能率連盟MC認定制度審査会制度委員会委員

(社)名古屋工業会監事

佐々木 元

名城大学非常勤講師

石原 聖治

朝日大学非常勤講師

柘植 吉則

椛山女学園大学非常勤講師

名古屋工業大学非常勤講師

山崎 康夫

東京造形大学非常勤講師

永見 保幸

専門団体連絡協議会委員

(社)全日本能率連盟組織委員会委員

寒河江 克昌

(社)全日本能率連盟全国能率大会企画・実行委員会委員

梶川 達也

中部大学非常勤講師

松崎 久純

慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科非常勤講師

中山 賢一

長野県中小企業団体中央会

平成22年度ものづくり分野の人材育成・確保事業ものづくり担い手育成事業委員

富澤 祐子

長野県中小企業団体中央会

平成22年度ものづくり分野の人材育成・確保事業コーディネータ

6. 会員支援

(総務本部 会員事業部)

(1) プロGRESS (中産連機関誌・月刊マネジメント専門誌) の発行 (別表①参照)

新しいマネジメントの提言、企業戦略の紹介など実践的内容で高い評価を得ており、毎号、テーマを絞った特集方式で編集することで、会員企業の関心の高いテーマを特集として企画、また、識者によるコラムのコーナーを設置

(2) 会員懇話会 (会員向け無料講演会) (別表②参照)

毎回、タイムリーで話題性の高いテーマを取り上げ実施

(3) 経営・法務相談室 (無料)

経営全般に関する無料相談と企業法務に焦点を当てた経営・法務の無料相談室には、これまでそれぞれの時代を反映した相談が寄せられており、今期も経営課題・問題解決の窓口を開設

(4) 中産連ビデオサービス (別表③参照)

会員企業向けメンバー登録制によるビデオギャラリーを開設、企業内研修等に活用

(5) 中産連ホームページ

当連盟団体概要の紹介のほか、新着情報コーナーなどで、さまざまな情報を提供するとともに、会員企業ホームページへのリンクサービス、セミナー申込み、コンサルティングの問い合わせ等に対応。また、会員企業向けに機関誌「プログレス」バックナンバーのダウンロードサービスを提供

(6) 中産連案内パンフレットの修正増刷

(7) 公開研修会案内冊子（無料）の発行

- ・平成23年4月～6月公開研修会のご案内
- ・平成23年7月～9月公開研修会のご案内
- ・平成23年10月～12月公開研修会のご案内
- ・平成24年1月～3月公開研修会のご案内

(8) プログレスファイルの製作

1年間発行分の機関誌「プログレス」を保管するファイル（バインダー）を製作

(9) マネジメント小冊子の発行

「平成24年度会員懇話会抄録集」（平成24年3月31日発行・1000部）

「潮流13」（平成24年3月31日発行・1000部）

(10) 会員交流会

会員企業相互の情報交換、交流の場として会員交流会を開催

開催日	参加者数	備考
平成23年9月12日	42	第2回交流会・第511回会員懇話会併催
平成24年1月27日	26	第3回交流会・第514回会員懇話会併催

(11) 人材育成フォーラム

創造性豊かな人材育成をめざして、これからの人材育成の提案と平成23年度研修事業計画を説明。

テーマ	開催日	講師	参加者数
サッカー日本代表監督にみる“結果を出すリーダー術” 日本旅行流いまどき新人・若手の育て方～組織を活性化する“骨太人材”の育成を目指して～ トヨタ自動車（事技職）の人材育成－若年層からマネージャーまで－	平成23年 12月7日	法政大学 スポーツ健康学部 教授 山本 浩氏 ㈱日本旅行 総務人事部 マネージャー 加藤 浩章氏 トヨタ自動車㈱ トヨタインスティテュート 主査 山田 治義氏	420

別表①(1) 平成23年度上期プログラム主要記事

月号	表紙	紙	潮	流	特集	テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他
4月号	東海旅客鉄道㈱ 「ワリオ・鉄道館」誕生	紙	㈱名機製作所 代表取締役社長 村上 博司氏 「変化と順応」	①環太平洋東アジア経済圏の台東下における日本経済の課題 ～平成23年度中産連事業活動方針と運営体制～ ㈱中部産連 副会長 竹内 弘之 ②インターナル・フランチャイズ：組織の潜在能力を引き出す新たなブランド戦略 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 加藤雄一郎氏	①環太平洋東アジア経済圏の台東下における日本経済の課題 ～平成23年度中産連事業活動方針と運営体制～ ㈱中部産連 副会長 竹内 弘之 ②インターナル・フランチャイズ：組織の潜在能力を引き出す新たなブランド戦略 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 加藤雄一郎氏	①環太平洋東アジア経済圏の台東下における日本経済の課題 ～平成23年度中産連事業活動方針と運営体制～ ㈱中部産連 副会長 竹内 弘之 ②インターナル・フランチャイズ：組織の潜在能力を引き出す新たなブランド戦略 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 加藤雄一郎氏	①環太平洋東アジア経済圏の台東下における日本経済の課題 ～平成23年度中産連事業活動方針と運営体制～ ㈱中部産連 副会長 竹内 弘之 ②インターナル・フランチャイズ：組織の潜在能力を引き出す新たなブランド戦略 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 加藤雄一郎氏	①環太平洋東アジア経済圏の台東下における日本経済の課題 ～平成23年度中産連事業活動方針と運営体制～ ㈱中部産連 副会長 竹内 弘之 ②インターナル・フランチャイズ：組織の潜在能力を引き出す新たなブランド戦略 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 加藤雄一郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第1回》株式会社DDR：中小企業こそブランドディングを意識せよ コラム「大道無門」 「次世代交通体系と部品企業の戦略」 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 竹野 忠弘氏
5月号	日本ガイン㈱ 「広報スクエア」リニューアルオープン	紙	愛知学院大学 名誉教授 今光 廣一氏 「責任不存在社会の悲劇」	①低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平氏 ②「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させる コーチング～ ㈱ドリームコム 代表取締役 吉田 典生氏	①低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平氏 ②「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させる コーチング～ ㈱ドリームコム 代表取締役 吉田 典生氏	①低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平氏 ②「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させる コーチング～ ㈱ドリームコム 代表取締役 吉田 典生氏	①低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平氏 ②「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させる コーチング～ ㈱ドリームコム 代表取締役 吉田 典生氏	①低成長時代における企業価値最大化に向けた財務・IR戦略 早稲田大学大学院 商学研究科・会計研究科 兼任講師 柳 良平氏 ②「育てる」から「育つ」へ～部下の自律を組織力に転換させる コーチング～ ㈱ドリームコム 代表取締役 吉田 典生氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第2回》株式会社鈴實：薄皮技術をもとに起死回生の逆転劇 コラム「大道無門」 「イス・ドイッの加工製造業の経営戦略」 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 竹野 忠弘氏
6月号	クラギ㈱ 「こどもとろろこん」植え体験会開催	紙	アスカ㈱ 代表取締役会長 片山 敬氏 「流れは変わった」	①グローバル化による影響と対策～ Partnership) 参加による影響と対策～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②企業の実情に応じた高齢者雇用への取組み ㈱中部産連 国際標準化事業部 主任コンサルタント 植 吉則	①グローバル化による影響と対策～ Partnership) 参加による影響と対策～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②企業の実情に応じた高齢者雇用への取組み ㈱中部産連 国際標準化事業部 主任コンサルタント 植 吉則	①グローバル化による影響と対策～ Partnership) 参加による影響と対策～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②企業の実情に応じた高齢者雇用への取組み ㈱中部産連 国際標準化事業部 主任コンサルタント 植 吉則	①グローバル化による影響と対策～ Partnership) 参加による影響と対策～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②企業の実情に応じた高齢者雇用への取組み ㈱中部産連 国際標準化事業部 主任コンサルタント 植 吉則	①グローバル化による影響と対策～ Partnership) 参加による影響と対策～ 名城大学 都市情報学部 教授 木下 栄蔵氏 ②企業の実情に応じた高齢者雇用への取組み ㈱中部産連 国際標準化事業部 主任コンサルタント 植 吉則	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第3回》森松工業株式会社：中国進出による多国籍企業へと大きく進化 コラム「大道無門」 「御器所（ごきそ）産学連携茶会」 名古屋工業大学 産業戦略工学専攻 准教授 竹野 忠弘氏
7月号	㈱三菱東京UFJ銀行 「貨幣資料館」開館50周年	紙	中北薬品㈱ 代表取締役会長 中北 智久氏 「温故知新」	①緊急特集・情報セキュリティ対策再点検 ～情報漏洩と対策の最新事情～ ㈱フック 取締役 セキュリティ事業統括CTO 西本 遼郎氏 ②平成23年度中部産連連通常総会	①緊急特集・情報セキュリティ対策再点検 ～情報漏洩と対策の最新事情～ ㈱フック 取締役 セキュリティ事業統括CTO 西本 遼郎氏 ②平成23年度中部産連連通常総会	①緊急特集・情報セキュリティ対策再点検 ～情報漏洩と対策の最新事情～ ㈱フック 取締役 セキュリティ事業統括CTO 西本 遼郎氏 ②平成23年度中部産連連通常総会	①緊急特集・情報セキュリティ対策再点検 ～情報漏洩と対策の最新事情～ ㈱フック 取締役 セキュリティ事業統括CTO 西本 遼郎氏 ②平成23年度中部産連連通常総会	①緊急特集・情報セキュリティ対策再点検 ～情報漏洩と対策の最新事情～ ㈱フック 取締役 セキュリティ事業統括CTO 西本 遼郎氏 ②平成23年度中部産連連通常総会	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第4回》本多プラス株式会社：自らで考え、自らつくり、自ら売っていく コラム「大道無門」 「ゴンドラで堀川再生のまちおこし」 NPO法人ゴンドラと堀川水辺を守る会 事務局長 石浦 薫氏
8月号	徳倉建設㈱ 「企業の森づくり」森林整備活動	紙	岐阜プラスチック工業㈱ 代表取締役社長 大松 和幸氏 「日本人の特質を踏まえ、今後の経済運営を考えよう」	①MFCA (ISO14051) の国際標準化/MFCAの具体的な導入・活用方法 日本が主導するマテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の国際標準化と環境国際規格ISO14001との関連性 日東電工㈱ サブテクナブル、マネジメント推進部長 古川 芳郎氏 フロアチーム ジャパン㈱ 代表取締役社長 立川 博巳氏 “日本発”省資源活動の国際標準：MFCA (Material Flow Cost Accounting) ものづくり現場の改善活動を体質化する手法～ ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタントチーム ②FEACO大会参加報告 ㈱中部産連 理事・コンサルタント部長 福山 稜 国別状況報告・講演 ㈱全日本能率連盟 会長 竹内 弘之	①MFCA (ISO14051) の国際標準化/MFCAの具体的な導入・活用方法 日本が主導するマテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の国際標準化と環境国際規格ISO14001との関連性 日東電工㈱ サブテクナブル、マネジメント推進部長 古川 芳郎氏 フロアチーム ジャパン㈱ 代表取締役社長 立川 博巳氏 “日本発”省資源活動の国際標準：MFCA (Material Flow Cost Accounting) ものづくり現場の改善活動を体質化する手法～ ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタントチーム ②FEACO大会参加報告 ㈱中部産連 理事・コンサルタント部長 福山 稜 国別状況報告・講演 ㈱全日本能率連盟 会長 竹内 弘之	①MFCA (ISO14051) の国際標準化/MFCAの具体的な導入・活用方法 日本が主導するマテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の国際標準化と環境国際規格ISO14001との関連性 日東電工㈱ サブテクナブル、マネジメント推進部長 古川 芳郎氏 フロアチーム ジャパン㈱ 代表取締役社長 立川 博巳氏 “日本発”省資源活動の国際標準：MFCA (Material Flow Cost Accounting) ものづくり現場の改善活動を体質化する手法～ ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタントチーム ②FEACO大会参加報告 ㈱中部産連 理事・コンサルタント部長 福山 稜 国別状況報告・講演 ㈱全日本能率連盟 会長 竹内 弘之	①MFCA (ISO14051) の国際標準化/MFCAの具体的な導入・活用方法 日本が主導するマテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の国際標準化と環境国際規格ISO14001との関連性 日東電工㈱ サブテクナブル、マネジメント推進部長 古川 芳郎氏 フロアチーム ジャパン㈱ 代表取締役社長 立川 博巳氏 “日本発”省資源活動の国際標準：MFCA (Material Flow Cost Accounting) ものづくり現場の改善活動を体質化する手法～ ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタントチーム ②FEACO大会参加報告 ㈱中部産連 理事・コンサルタント部長 福山 稜 国別状況報告・講演 ㈱全日本能率連盟 会長 竹内 弘之	①MFCA (ISO14051) の国際標準化/MFCAの具体的な導入・活用方法 日本が主導するマテリアルフローコスト会計 (ISO14051) の国際標準化と環境国際規格ISO14001との関連性 日東電工㈱ サブテクナブル、マネジメント推進部長 古川 芳郎氏 フロアチーム ジャパン㈱ 代表取締役社長 立川 博巳氏 “日本発”省資源活動の国際標準：MFCA (Material Flow Cost Accounting) ものづくり現場の改善活動を体質化する手法～ ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタントチーム ②FEACO大会参加報告 ㈱中部産連 理事・コンサルタント部長 福山 稜 国別状況報告・講演 ㈱全日本能率連盟 会長 竹内 弘之	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第5回》錦見鍛造株式会社：とことん跡継ぎを追求し、オリジナリティを獲得 コラム「大道無門」 「ゴンドラで堀川再生のまちおこし(2)」 NPO法人ゴンドラと堀川水辺を守る会 事務局長 石浦 薫氏
9月号	ヤマハ発動機㈱ 「ヤマハコミュニケーションプラザ」	紙	一般社団法人日本設備管理学会 会長 酒井 春治氏 「日本のものづくり競争力向上を目指して！」	①第62回全国能率大会・経済産業政策局長賞受賞 新たなProcess Design&Chain Management 「P-O」法 「設計・試験」現場に潜む「5大ロス」と【仮説・検証】 ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタント 上席主任コンサルタント 町野 隆美 ②第62回全国能率大会・全日本能率連盟賞受賞 マネジメントシステムを活性化する法規制管理 ㈱中部産連 国際標準化事業部 コンサルタント 熊澤 晶子	①第62回全国能率大会・経済産業政策局長賞受賞 新たなProcess Design&Chain Management 「P-O」法 「設計・試験」現場に潜む「5大ロス」と【仮説・検証】 ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタント 上席主任コンサルタント 町野 隆美 ②第62回全国能率大会・全日本能率連盟賞受賞 マネジメントシステムを活性化する法規制管理 ㈱中部産連 国際標準化事業部 コンサルタント 熊澤 晶子	①第62回全国能率大会・経済産業政策局長賞受賞 新たなProcess Design&Chain Management 「P-O」法 「設計・試験」現場に潜む「5大ロス」と【仮説・検証】 ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタント 上席主任コンサルタント 町野 隆美 ②第62回全国能率大会・全日本能率連盟賞受賞 マネジメントシステムを活性化する法規制管理 ㈱中部産連 国際標準化事業部 コンサルタント 熊澤 晶子	①第62回全国能率大会・経済産業政策局長賞受賞 新たなProcess Design&Chain Management 「P-O」法 「設計・試験」現場に潜む「5大ロス」と【仮説・検証】 ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタント 上席主任コンサルタント 町野 隆美 ②第62回全国能率大会・全日本能率連盟賞受賞 マネジメントシステムを活性化する法規制管理 ㈱中部産連 国際標準化事業部 コンサルタント 熊澤 晶子	①第62回全国能率大会・経済産業政策局長賞受賞 新たなProcess Design&Chain Management 「P-O」法 「設計・試験」現場に潜む「5大ロス」と【仮説・検証】 ㈱中部産連 国際標準化事業部 MFCAコンサルタント 上席主任コンサルタント 町野 隆美 ②第62回全国能率大会・全日本能率連盟賞受賞 マネジメントシステムを活性化する法規制管理 ㈱中部産連 国際標準化事業部 コンサルタント 熊澤 晶子	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第6回》株式会社ワイバーウェアジャパン：アスリートの評価を力に 「第三世代のクッション材」拡販へ コラム「大道無門」 「ゴンドラで堀川再生のまちおこし(3)」 NPO法人ゴンドラと堀川水辺を守る会 事務局長 石浦 薫氏

別表①(2)平成23年度下期プログラム主要記事

月号	表紙	潮	流	特集	テーマ	主な内容	懇話会抄録	その他の
10月号	中京テレビ(株) 「東山動植物園に巨 大壁画完成」	柳エス・ティ・ティ・ド コモ東海支社 常務執行役員東海支社長 中村 克央氏 (NNTDコモのCSRと 東日本大震災)	柳エス・ティ・ティ・ド コモ東海支社 常務執行役員東海支社長 中村 克央氏 (NNTDコモのCSRと 東日本大震災)	①企業経営と実践的財務戦略 ～グローバル時代における知的戦略とは～ 特許業務法人オランダ国際特許事務所 所長・弁理士 恩田 誠氏 ②アジア市場で勝ち残る～日本企業に求められる新たな転換～ 静岡産業大学 経営学部 教授 丹羽 田一氏	①グローバル人材育成を考える～立命館APUの人材育成プログラムについて 立命館アジア太平洋大学 国際経営学部長・GBLPリーダー 横山 研治氏 ②東日本大震災に見る企業広報のあり方 ～企業危機への対応と非常時における社会との関係づくりを考える～ TAZAKIコミュニケーションコンサルティング 代表 田崎 陽典氏	調査結果報告 平成23年度「職場の活性化とメンタルヘルス」に関するアンケート調査を終えて 御中部産業連盟 職場活性化支援センター グループリーダー 浦野 貴 企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第7回》株式会社伊藤製作所：金型技術を軸にプレス部品で儲かる仕組みを表現 コラム「大道無門」 「認知症の基本的理解(1)：認知症の人への理解を深める」 認知症介護研究・研修大府センター センター長 柳 務氏	第511回 「東海・東南海・南海地震における災害 予測と防災計画」 名古屋大学大学院 環境学研究所 教授 福和 伸和氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第8回》愛知ドビー株式会社：町工場から唯一無二の綿が誕生、大ヒット商品へ コラム「大道無門」 「認知症の基本的理解(2)：知って得する 認知症の予防法」 認知症介護研究・研修大府センター センター長 柳 務氏
11月号	豊田合成(株) 「赤レンガ壁の保存 モニュメントを設置」	大豊工業(株) 取締役社長 上田 健仁氏 「創造力」	アサヒビール(株) 中部統括本部 理事・ 中部統括本部長 中部統括本部長 谷田部二政氏 「地域の皆さんとともに」	①2012年景況予測と企業動向調査 ～中産役員50社の予測～(中産役員アンケート集計結果より) 御中部産業連盟 副会長 竹内 弘之 コンサルティング 加藤久仁明	①東海経済 2012年の展望 日本銀行 名古屋支店 支店長 棚田 誠希氏 ②2012年マネジメント課題と中産連からの提案 御中部産業連盟 副会長 竹内 弘之 御中部産業連盟 理事・JMS事業部長 佐々木 元	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第9回》株式会社ダイニチ：超極細の穴加工で独自の道を切りひらく コラム「大道無門」 「認知症の基本的理解(3)：知らななきや損する認知症の予防法」 認知症介護研究・研修大府センター センター長 柳 務氏	第512回 「日本品質で世界を制す」 ～世界をリードする“当たり前の日本 品質”～ 早稲田大学ビジネススクール 教授 柳ローランド・ベルガー日本法人 会長 遠藤 功氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第9回》株式会社ツキオカ：縮押のツキオカからフィルム製剤のツキオカへ大きく変身 コラム「大道無門」 「酸化・還元」 名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏
1月号	柳ノリタケカンパニー リミテッド 「ノリタケ染店 リ ニューアルオープン」	中産連会長年頭ご挨拶 中産連 会長 池淵 浩介 経済産業大臣年頭所感 経済産業大臣 枝野 幸男氏	①スーパーバリエーション ～わが国企業における新たな価値の共創～ 名城大学 都市情報学部 教授・工学博士 木下 栄蔵氏 ②中産連VM賞受賞企業の取り組み VM・6S実践による経営革新 御中部産業連盟 代表取締役社長 堀 繁氏 御中部産業連盟 東京本部 執行理事・経営革新事業部長 小坂 信之	①中小・中堅企業におけるABL (Asset Based Lending) の可能性 日本銀行 金融機構局 審議役・金融高度化センター長 森 俊彦氏 特定非営利活動法人日本動産鑑定 理事長 久保田 清氏 御中部産業連盟 経営企画営業支援部 御中部産業連盟 代表取締役社長 堀 繁氏 ②グローバル時代の人材育成～日本企業の問題と戦略～ 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 真氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 生き残りを賭けた中小企業の熟き戦い ～1年間の取材を振り返って～ 中産連「革新の創造力」取材班 コラム「大道無門」 「酸・塩基」 名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏	第513回 「『はやぶさ』式思考法」 ～日本を復活させる24の提言～ 宇宙航空研究開発機構 教授 川口淳一郎氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 《第10回》株式会社ツキオカ：縮押のツキオカからフィルム製剤のツキオカへ大きく変身 コラム「大道無門」 「酸化・還元」 名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏	
2月号	中部国際空港(株) 「セントレア スカ イデパートイミルニ シジョン」	学梅村学園 理事長 小川 英次氏 「現段階において経営を 考える」	①中小・中堅企業におけるABL (Asset Based Lending) の可能性 日本銀行 金融機構局 審議役・金融高度化センター長 森 俊彦氏 特定非営利活動法人日本動産鑑定 理事長 久保田 清氏 御中部産業連盟 経営企画営業支援部 御中部産業連盟 代表取締役社長 堀 繁氏 ②グローバル時代の人材育成～日本企業の問題と戦略～ 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 真氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 生き残りを賭けた中小企業の熟き戦い ～1年間の取材を振り返って～ 中産連「革新の創造力」取材班 コラム「大道無門」 「酸・塩基」 名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏				
3月号	柳馬印 「応時中学校 職場 体験学習」	三菱レイヨン(株) 豊橋事業所 執行役員 豊橋事業所長 三木 宏氏 「リーダーシップとは」	①中小・中堅企業におけるABL (Asset Based Lending) の可能性 日本銀行 金融機構局 審議役・金融高度化センター長 森 俊彦氏 特定非営利活動法人日本動産鑑定 理事長 久保田 清氏 御中部産業連盟 経営企画営業支援部 御中部産業連盟 代表取締役社長 堀 繁氏 ②グローバル時代の人材育成～日本企業の問題と戦略～ 名古屋大学大学院 経済学研究科 教授 西村 真氏	企業訪問シリーズ「革新の創造力」 生き残りを賭けた中小企業の熟き戦い ～1年間の取材を振り返って～ 中産連「革新の創造力」取材班 コラム「大道無門」 「酸・塩基」 名古屋工業大学 名誉教授 齋藤 勝裕氏				

別表② 会員懇話会

テ ー マ	開催日	講 師	参加者数
ソーシャルメディアが切り拓くマーケティング新時代 ～「明日の売上」につなげる消費者との中長期的な「キズナ」づくり～	第507回 平成23年 4月12日	㈱トライバルメディアハウス 代表取締役社長 池田 紀行氏	74
日経ものづくり編集長が語る 新興国で成功するために ～“日本流再生”	第508回 平成23年 5月23日	日経ものづくり 編集長 荻原 博之氏	102
競争と公平感 ～市場経済の本当のメリット	第509回 平成23年 6月15日	大阪大学 社会経済研究所 教授 附属行動経済学研究センター長 大竹 文雄氏	96
アジア力 ～成長する国と発展の軸が変わる～	第510回 平成23年 7月7日	日本経済新聞社 編集委員 後藤 康浩氏	103
東海・東南海・南海地震における災害予測 と防災計画 ～災害予測に基づいたBCP (Business Continuity Plan) 策定のために～	第511回 平成23年 9月12日	名古屋大学大学院 環境学研究科 教授 福和 伸夫氏	163
日本品質で世界を制す ～世界をリードする“当たり前”の日本品質” ～	第512回 平成23年 10月31日	早稲田大学ビジネススクール 教授 ㈱ローランド・バルガー日本法人 会長 遠藤 功氏	118
「はやぶさ」式思考法 日本を復活させる24の提言	第513回 平成23年 11月30日	宇宙航空研究開発機構 教授 川口 淳一郎氏	265
2012年の景況予測 ～震災で日本経済はどうなるか～	第514回 平成24年 1月27日	シティグループ証券㈱ 取締役副会長 藤田 勉氏	103
いま、日本企業に必要なこと ～SONYとGoogleの企業比較に学ぶ～	第515回 平成24年 2月28日	アレックス㈱ 代表取締役社長兼CEO 辻野 晃一郎氏	138
小さな企業でも発揮できる強いブランド力 ～自社製品・サービスを 一流ブランドへと高める戦略とは～	第516回 平成24年 3月19日	ブレインゲイト㈱ 代表取締役 酒井 光雄氏	103

別表③ 中産連ビデオサービス

	通期合計
新規登録会員数	3社
会員数	169社
ビデオ貸出総数	9本
ビデオ貸出件数	3社